

56-1・2次隊

# 協力隊派遣受入希望調査表

昭和55年10月

NO. 1

農 林 水 産 部 門

国際協力事業団

青年海外協力隊事務局

J/333:9

SE

56-1

15108



56年度第1・2次隊協力隊員派遣受入希望調査表

No. 1

目 次

職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ	職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ		
101 稲 作	1	フィリピン	有	1	131 家畜飼育	1	マレイシア	有	52		
	1	フィリピン	有	2		1	バングラデシュ	有	53		
	5	バングラデシュ	有	3		3	バングラデシュ	有	54		
	1	スリ・ランカ	有	4		1	シリア	有	55		
	3	ケニア	有	5		1	ケニア	有	56		
	1	タンザニア	有	6		1	タンザニア	有	57		
	1	ガナナ	有	7		1	ガナナ	有	58		
	102 食作物	1	フィリピン	有		8	1	ガナナ	有	59	
		1	フィリピン	有		9	1	コスタリカ	有	60	
		1	フィリピン	有		10	1	コスタリカ	有	61	
		1	マレイシア	有		11	1	パラグアイ	有	62	
		10301 花	1	パラグアイ		有	12	1	フィリピン	有	63
			10302 野菜	1		フィリピン	有	13	1	フィリピン	有
		1		フィリピン		有	14	1	フィリピン	有	65
		1	フィリピン	有		15	1	フィリピン	有	66	
		1	フィリピン	有		16	1	バングラデシュ	有	67	
1		フィリピン	有	17	13105 養 蜂	1	マラウイ	有	67		
1		マレイシア	有	18		1	コスタリカ	有	68		
1		バングラデシュ	有	19	132 養 鶏	1	パラグアイ	有	69		
1		バングラデシュ	有	20		1	フィリピン	有	70		
1		バングラデシュ	有	21	133 飼料作物	1	フィリピン	有	71		
1		バングラデシュ	有	22		1	スリ・ランカ	有	72		
2		バングラデシュ	有	23	135 獣医師	1	ザンビア	有	73		
4	バングラデシュ	有	24	5		ホンジュラス	有	74			
1	バングラデシュ	有	25	14001 農業協同組合	1	シリア	有	75			
2	バングラデシュ	有	26		1	タンザニア	有	76			
1	ネパール	有	27	14002 漁業組合	4	ザンビア	有	77			
1	スリ・ランカ	有	28		1	ザンビア	有	78			
2	エチオピア	有	29	14003 村落開発普及員	2	バングラデシュ	有	79			
2	ケニア	有	30		1	パラグアイ	有	80			
1	ザンビア	有	31	150 食品加工	1	ホンジュラス	有	81			
2	セネガル	有	32		1	フィリピン	有	82			
1	ホンジュラス	有	33	160 森林経営	1	マレイシア	有	83			
1	コスタリカ	有	34		1	ケニア	有	84			
10303 果 樹	1	西サモア	有		35	1	タンザニア	有	85		
	1	バングラデシュ	有		36	1	ホンジュラス	有	86		
	1	ネパール	有		37	1	フィリピン	有	87		
	6	ネパール	有		38	2	ネパール	有	88		
	1	シリア	有		39	1	マラウイ	有	89		
	1	ザンビア	有		40	1	マラウイ	有	90		
	104 工芸作物	1	パラグアイ		有	41	16003 生態調査材	1	マレイシア	有	91
		105 き の こ	1		コスタリカ	有		2	マラウイ	有	92
	1		ネパール		有	42	1	フィリピン	有	93	
	115 土壌肥料	1	シリア		有	43	1	フィリピン	有	94	
		1	マレイシア		有	44	1	バングラデシュ	有	95	
	120 農業土木	1	ケニア		有	45	1	シリア	有	96	
		1	マレイシア		有	46	2	タンザニア	有	97	
		4	ネパール		有	47	1	タンザニア	有	98	
	121 農業機械	3	タンザニア	有	48	1	セネガル	有	99		
		1	マラウイ	有	49	1	ホンジュラス	有	100		
1		ザンビア	有	50	1	コスタリカ	有	101			
1	フィリピン	有	51	1	西サモア	有	102				
1	フィリピン	有	52	1	ソロモン諸島	有	103				

職 種	要 請 数	国 名	調 査 表 の 有 無	ペ ー ジ	職 種	要 請 数	国 名	調 査 表 の 有 無	ペ ー ジ
171 養 殖	1	フィリピン	㊦	98					
	1	フィリピン							
	1	マレーシア	㊦	99					
	1	バングラデシュ	㊦	100					
	1	シリア	㊦	101					
	1	シリア	㊦	102					
	1	ザンビア	㊦	103					
	1	コスタリカ	㊦	104					
180 水産物加工	1	フィリピン	㊦	105					
	1	西サモア	㊦	106					
19001 農林統計	1	マラウイ	㊦	107					
19002 水産統計	1	ソロモン諸島	㊦	108					

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 4月 10日

101 稲 作

調査者氏名 新保 昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Storage Quality Control	(女) 人	派遣予定 56年 2 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	米穀品質管理技術		

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Agricultural Credit Administration (ACA)  
 (日本語): 農業信用機構

ロ. 隊員勤務先名称: Compact Farms clusters 日本語名称 ( )  
 所在地: Baliwag Bulacan 主要都市からの距離 (7=5より 70キロ)

ハ. 事業規模及び内容: Compact Farmの2年画(米を玄米に貯蔵する)倉庫及び市場の如何に工場米を玄米にする Rice Mill complexを設立する complexの規模は2122.54から最終決定を行なうこととする。

ニ. 設備概要: Rice Mill complexには必要設備機械を設置するに1213. 詳細は別紙(英文)参照

(2) 隊員の業務内容:

隊員の業務上の地位: ACA 94席の技術者  
 技術の範囲: 米の品質管理に係る全般的知識  
 業務の形態: Rice Mill complex 内の少く技術者に対しては、技術指導及び監督

対象者及びカウンターパートの技術水準 号工. 及び年令  
 ; 見評的 counterparts は今後の決定に依るが、適格者を得るのに技術指導を必要とする。

現地の利用する機械: Rice Mill complex には少く設置してあるものがあり必要設備資機材は整へる予定

取場に在りて居る日本人及び日米間内装の配置状況  
 ; 今までの Volunteer が全体の計画立案者として参加予定

使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: フィリピンに在る米の生産は順調に伸び輸出が可能とされている。しかしながら最近の Compact Farm には ACA の生産指導がある。今後の課題は如何に市場へ出たかである。そのための試みとして Rice Mill complex を設立し玄米にする貯蔵を121213. 日本に在る米の貯蔵方法を高く評価して隊員に在る期待を下す。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

当該分野に在る経験 2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年8月5日

101 稲 作

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Rice Culture	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 稲 作	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 5年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agrarian Reform (MAR)  
(日本語): 農地改革省

ロ. 隊員勤務先名称: Pilot Special Settlement Project 日本語名称 ( )  
所在地: Nara, Palawan 主要都市からの距離: 約95キロ

ハ. 事業規模及び内容: 原始林を削って作られた入植地で総面積約2500ha  
入植户数約200戸. 現地の入植事務所では約40名の職員が働いている

ニ. 設備概要: 入植地内整備に必要なものは割合そろってはいるが使用可能なものは少ない

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位: MAR-PSPP付農業指導員
- ② 技術の範囲: 農村巡回指導及び多試験栽培を行なう
- ③ 業務の形態: この入植地内では稲栽培上大きな問題となっているリン酸欠乏の土壌. 対策として現地にある稲栽培方針を確立するための試験を行ない. その結果を基にして農民に指導していく. また一般農民レベルでは肥料が増収に不可欠となっている地域でより経済的な栽培方法が必要となっており技術普及と平行して進めていく.
- ④ 対象者及びカウンターパート: 特にカウンターパートの対象者はないが. 個々の農民及び農業高校生. 農業技術者への助言を行なう.
- ⑤ 現地で利用できる機材: 「稲作栽培を行っていく上で利用できるものはほとんどないものがある.
- ⑥ 使用する言語: 英語・タガログ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現地入植事務所内にも数名の技術者と呼ばれる人達はいるか. 彼らの仕事は事務領域中心で農民に対する技術指導という事になると力量不足である. 隊員は農民に対して技術指導及び高収量品種の普及と増産を行なう.

(黒田秀樹隊員, 53. 後の交替要請)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業改良普及員 オートバイ運転免許  
学歴は問わずに数年の経験が必要であり. 土壌問題が深いため土壌関係に精通しているのが望ましい

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

101 稲 作

記入昭和 55年 9月 2日

調査者氏名 表 伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Agricultural Extension	(男) 5 人	訓練開始 56年 4月
	(日本語) 101 稲作	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56年 8月 受入期限 56年 8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Integrated Rural Development Programme (IRDP)  
 (日本語): Ministry of LRDC Cooperatives 総合農村開発計画

ロ. 隊員勤務先名称: ঢাকা 拠点として巡回指導 日本語名称 ( )  
 所在地: 主要都市からの距離 ( ) より キロ

ハ. 事業規模及び内容: IRDPは農村地域における農業協同組合の組織化を土台として、農業生産の増大、農民の生活向上並びに地域の総合的開発を推進している。本要請は1980年よりスタートした第2次5年計画の一環である。

ニ. 設備概要: 15の行政区単位の農業協同組合連合会が対象となる(TCCA)。TCCAは全国に200近くある。

(2) 隊員の業務内容: 行政区単位での農民の実際的研修を目的として

Thana Training Units (TTU) プロジェクトが15行政区で世銀援助でスタートする。現在でも週一回モデル農家等を集めて講習をしているが、それを1週間程度合宿させ、集中訓練を意図するものである。

一括してTTU 隊員15名の要請を受け、農業普及、農協、畜産、養殖等のうち、農業普及に該当する。

1) 隊員の業務上の地位: ঢাকা プロジェクトオフィス詰めのTTU巡回指導者。

2) 技術の範囲: 上記のような事情で稲作も12ヶ月は長く、農業普及という形であるので、いくら稲に強いというよりも、浅く広く経験があることが望ましい。

3) 業務の形態: ウツカでのTCCAを受持つことになる。

4) 対象者およびカウンターパート 農民対象でカウンターパートはIRDP役人

5) 現地で利用できる機材 教室と机程度

6) 取場における外国人等: プライヤー格で米国人1名 協力隊員

7) 使用する言語 バンガール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: TTUプロジェクトの色付けをしていくのは隊員と存する。他のIRDP隊員の評価が高く、本要請となった。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業経験者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 8月 29日

101 稲 作

調査者氏名 平沢昭男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
スリランカ	(現地公用語) Rice Crops	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 稲 作	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): National Youth Service Council

(日本語): N.Y.S.C. 国家青年奉仕評議会

2. 隊員勤務先名称: Batangala Training Center 日本語名称 (バタંગアラ トレーニングセンター)

所在地: Batangala, Panamala 主要都市からの距離 (コロンボより 58キロ)

3. 事業規模及び内容: 1979年度の予算は2000万ルピー(約2億8000万円)。国内全域に77のトレーニングセンターがあり、各地に1000以上の研修生が在籍している。国内全域に77の(新設中20校を含む)のトレーニングセンターがあり、各地で主に out-of-school の青年達に村落に於ける

4. 設備概要: トレーニングセンターの建物、園場、宿舎等

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: インストラクターであるが、トレーニングセンターの長である District Youth Service Officer とほぼ同様の扱いとなる。

2. 技術の範囲: スリランカは直接に研修栽培が盛んであるため、直接栽培の知識と技術、特に理論面に精通していること。育種、採種栽培の技術は必要なし。

3. 業務の形態: 各トレーニングセンターのカリキュラムの一部として組み入れられたり、"稲作"の指導(園場実習を含む)を行ったり、訓練終了後の生徒に対する follow-up を行うことが含まれる可能性がある。

4. 対象者のカウンターパート: 直接の対象となるのは、トレーニングセンター周辺各地から集まる農家出身の生徒(年齢15~29才)であるが、カウンターパートとして特定された人物はいない。強いて挙げるとすれば、日本流に言う農業講習所 (Govt Farm School) に行き、25才前後のインストラクターになる。

5. 現地で利用する主要機材: 基本的な農具と耕耘機(9馬力程度)

6. 職場に於ける外国人等: 現在バタંગアラ江から2名、バタંગアラから1名の UNLV が配属されているが、55年12月には任期を終えて帰国する。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 7. 使用する言語: シンハラ言語

当国では特に農村部に多い out-of-school に対する育成指導に力を入れている。N.Y.S.C. がこの活動の中心に活動しているが、各トレーニングセンターで研修生の専門分野を技術的に優れる人材がいなかったり、隊員の要請に十分なものがなく、農村青年へのより効果的なトレーニングが行われなければならないことを期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高校卒以上とする。但し高卒の場合は実務経験5年以上。

○ 年齢より経験重視

○ 単車免許



# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 9 日

101 稲

作

調査者氏名 豊嶋 一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語) RICE CULTURE	(男) 3 人	訓練開始 56 年 4 月
	(日本語) 稲作	(女) 人	派遣予定 56 年 9・10 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 10 月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

- イ. 配属先名称 (現地公用語): **MINISTRY OF AGRICULTURE**  
(日本語): **農業者**
- ロ. 隊員勤務先名称: **DISTRICT AGRICULTURAL OFFICE** 日本語名称 ( **県農業事務所** )  
所在地: **各県の主要都市** 主要都市からの距離 ( **より** キロ )
- ハ. 事業規模及び内容: **県内の農業を主管する事務所であるが規模は中・小都市の農業課程度のものと見てほしい。**
- ニ. 設備概要: **事務所と附属する試験場がある場合もある。**

**(2) 隊員の業務内容:**

- 自然灌漑域・渇水地等に対する稲作の導入を指導し、農業事務所を基盤として稲作技術と農民に普及する。
1. 業務上の地位: **DISTRICT RICE PRODUCTION OFFICER**
  2. 技術の範囲: **米栽培全般 及び他の作物についての知識も望ましい。**
  3. 業務の形態: **普及活動・展示栽培のほか計画立案・指導報告等の事務処理を含む**
  4. 対象者の状況: **米作農民のほかカウンター・パート的存在としてケニア人農業者技術員も存在する。**
  5. 利用できる教材: **なし。**
  6. 外国人要員との関係: **カウンシル員米田平和部隊員等と共に活動する場合もある。**
  7. 言語: **事務所内においては英語。しかし農民と接する際スワヒリ語その他部族語の必要性が痛感され従来の隊員は努力でこれらの言語習得に努んでいる。**
  8. 交際の形態: **4名全員交際要員である。即ち下記隊員の交際となる。  
田村孝志(53.1.前)、大原克之(53.1.前)  
渡辺安樹(53.1.後)、築瀬幸雄(53.2.前)**

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:** ケニアの第4次5ヶ年計画では農業と教育の振興に特に重点が置かれており、中でも稲からの米不足もあり稲作の普及には努力が傾注されている。このような状況下、技術的指導者としてわが協力隊員に対する期待は甚大である。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

- (短大又は大学(稲作専攻) 農業改良系局員資格保持者が望ましい、)
- (運転運転免許) アフリカの農村部で生活する身心堅固なものを。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

101 稲 作

記入昭和55年3月20日

調査者氏名 大西規夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定	
タニカニ?	(現地公用語) RICE PRODUCTION	(男) 1 人	訓練開始	55 年 10 月
	(日本語) 稲 作	(女) 人	派遣予定	56 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限	年 月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

- イ. 配属先名称 (現地公用語): *National Agricultural and Food Corporation*  
(日本語): *農業食糧公社*
- ロ. 隊員勤務先名称: *MBARALI Rice Farm*      日本語名称 (ムバラリ) 稲作農場 )  
所在地: *MBARALI*      主要都市からの距離 (ムバより) 156 キロ
- ハ. 事業規模及び内容: 1959年FAOの協力で計画され開設されたパイロットファームであり、大規模な灌漑設備を有し、9月農産物の20%を生産している。作付内容は稲作2300ha、大豆520ha、トウモロコシ160ha、レタゼンス2ha (1979年)。事務所、宿舎などもあり、現在365人の。
- ニ. 設備概要: 現地人スタッフがいる。1台は大型のライスミルがあり、米、麦、小麦、中目穀などのトワワ、ローリー、ライスハーベスターの農業機械が揃っている。

**(2) 隊員の業務内容: 現在至るとは4品種 (IR8, IR579, KILOMBERO, SURINAMS K2242) が作付けされている。他に日本種 (コシジロ、ニホンバネ、インカリ、フジノリ、トヨニギ、トウモロコシ) の栽培試験中である。**

- 隊員の業務は寒冷期 (5月~9月) における日本種の試験栽培を中心に行うほか、稲作全般 (播種、除草、施肥、水利、収穫等) の管理、調整を行う。
- 現在同農場は3エニトに別れ、各2エニトにはタニカニ入の午一がおり、そのうちの1人 MR. CHARLES MALLISA は 1978年10ヶ月間 JICA の内定セクターにおいて研修を受けており、隊員は同午一と協力して業務を行うことになっている。
- 同農場には現在中目人30名 (1969年から中目の援助が開始された。30名中通訳1名、稲作専門家4名が含まれている) 1エニト1名 (会計士) センニエル人 (メカニカルエンジニア) が活躍している。
- 使用および言語は業務上現地人との係わりが強いのでスワヒリ語が望ましい。
- 機材については一式揃っているが軽便時の携行は必要ない。

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:**

先般日本政府から無償で日本米が供与されたが、優秀な日本米の感謝した農業大臣が日本の稲作技術と是非普及したいと要請して来たものであり、また現場では昨年より日本種の試験栽培が行われているが、技術より不足から必要と満足する十分な稲米ができていないの、協力隊員は皆その期待を大い。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

○ 大卒 (農学部) の稲作の実務経験2年以上

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 10 月 13 日

101 稲 作

調査者氏名 駐在員 中野 勝安

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
が-ナ	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと	

**(1) 配属先**

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture  
 (日本語): 農 業 省

ロ. 隊員勤務先名称: c/o. NASIA RICE CO. LTD 日本語名称 ( )  
 所在地: P. O. Box 589, Tamale 主要都市からの距離 (アクラより 500キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 北部州の州都タズレ人口10万人、首都アクラから約200km  
タズレを中心に70km 圏に水田プロジェクトが5カ所ある  
が-ナの水田向産地帯である。耕作率は20%。後は天然の雨

ニ. 設備概要: 設備はほとんどない。1カ所、エレクトリックの場合、交通手段はバイクに依存する。

**(2) 隊員の業務内容:**

タズレにおいて稲作の指導に従事する。  
水田地帯が5カ所に中割りしており、タズレが一番盛んなところ  
が15k、遠い所が70kのところもある。時々四輪車を  
利用して普及活動に努める時があるが、ほとんどバイクが主  
である。指導は、NASIAのスタッフ及び労働者に行う。  
一般の農家に指導しない (農民は個人的稲作をしていない)  
一日のほとんど外回りであるので体力が鍛錬されていると  
が要求される

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:**

今日は日本人の代目である 初代が農作家 二代 JOCV、隊員の交代である。  
受入先においては評価が高い。農家の存在が仕事が出来るところである。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):** 農業実務経験が1年以上ある方が  
。自動車運転の免許取得、体力健康、深酒(酒好き)は当国では物足りない

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

102 食用作物

記入昭和53年10月10日

神谷弘司

調査者氏名

フィリピン共和国

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	食用作物(採種) - B.C	(どちらでも可) 人	受入期限 5年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Don Mariano Marcos Memorial State College  
(日本語): ド・マリヤノマルコス記念州立大学

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)  
所在地: Bacoratan, La Union 主要都市からの距離 約25キロ

ハ. 事業規模及び内容: ラウニオン州を中心に農業技術者、農業学校の生徒育成、  
高校で、高校部、大学部、短大部に分れて、生徒総数約3500名、教師(247名)の  
120名である。農業科、農業教育科、家庭科、理科、農業土木科等がある(農業関係のみ)

ニ. 設備概要: 十分に設備があるが、農業分野に不足設備は多少ある。今年度予算 600万ペソ  
他入学部は不明である。

(2) 隊員の業務内容:

state college の農業関係のことで、隊員は当該の高校部門の先生として、  
生徒と一緒に種子生産に実務をする。

- ① 隊員の業務上の地位: テクニカルアドバイザー
- ② 技術的範囲: 野菜、稲、ユース、豆類の採種、種子生産、育種研究を行う。
- ③ 業務の形態: 当該はラウニオン州(外島)の各種種子の供給源として、  
DAE (農業局)、DPI (植物産業局) の協力の下に州内へ種子増産に力  
を注いでいる。当該の圃場 (Seed production) には2haの圃場は当該から距離がある。  
1.2haの圃場、及び育種学校と生徒と一緒に採種、育種研究を行う。
- ④ 対象者等: 校長はラウニオン州 - MR. Sita Apolinario (MSAC ABSAE 卒業  
生、1973年初本校に経来している) 非常に良い。彼は以前、隊員としての活動は意味  
を認めている。当該の農業科の JOCU 隊員は長年ラウニオン州に在り、
- ⑤ 現地での利用すべき機材: 一般農業用具、水田等。
- ⑥ 職場に在りての同国人: 無し。
- ⑦ 使用料の支払: 要否。  
年、当該以外の JOCU 隊員は (1978年) 5000ペソ用意している。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ラウニオン州農業関係で、関係の深いラウニオン州の農林局長(当時、編作)が本隊員を招き、当該に  
来り採種に当たって、大変な準備をした。今、入隊している。今後は稲、野菜、一般  
作物等広く栽培、研究するのを望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学(農業系)以上の人を希望する。特に育種、採種に精通していること。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 12 月 17 日

## 102 食 用 作 物

調査者氏名 新 澤 昭 澄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
フィリピン	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	Food crop science	(女) 人	派遣予定 56 年 2 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	食 用 作 物		

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Don Mariano Marcos Memorial polytechnic state collage  
 (日本語): ドンマリアン・マルコス記念州立工科大学

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 ( 同 上 )

所在地: Cagayan de Oro Misamis Pamalayan 主要都市からの距離 ( より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:  
 農学科開設後日已満いり、農学全般に亘る教育と実施に  
 より、学生数の増進と、教授陣の充実により、専攻コースを設け  
 二. 設備概要: 1 棟と 1 棟あり。

(2) 隊員の業務内容:

隊員の業務上の地位: Teaching staff に付した指導技術者

技術の範囲: 食用作物に關する中心知識の要りありと同時  
 に農場での Demonstration に必要な技術が必要

業務の形態: 工室内に於ける技術指導  
 社務者及びカウンセラーの技術水準、学内及び学外  
 ; 直接に生徒を教えることには付いり、Counterparts は  
 25歳~40歳までの教員及び農場技術者であり、農業  
 全般に亘る知識の比較的豊富であるが、実際面での  
 技術水準は低い。

現地の利用及び機械: 一般の耕作機具有り、隊員の Demonstration の  
 内容により機械を準備する必要がある。

使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

日本に於ける集約農業は著しく進んでいるが、又設立日已満いり農学科の  
 整備拡充のため、是非協同隊員による協力が欲しいとの強い期待がある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学系大学生、学歴2年以上

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

102 食用作物

記入昭和 55年 7月 25日

調査者氏名 **新保昭治**

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン 曼和国	(現地公用語) Food Crops	(男) /人	訓練開始 年 月
	(日本語) 食用作物	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): **Mangyan Development Center**  
(日本語): **マンギエン開発センター**

□ 隊員勤務先名称: **同上** 日本語名称 ( **同上** )  
所在地: **Mansalay, Or. Mindoro** 主要都市からの距離 **約40km (キロ)**

ハ. 事業規模及び内容:

**ミンドロ島山岳部に居住する少数民族部族、ハヌオ・マンギエン族に対する生活改善等を目的とする**

ニ. 設備概要:

**(2) 隊員の業務内容:**

- ① 隊員の業務上の地位: **マンギエン周辺における農業一般の技術指導者**
- ② 技術の範囲: **このセンターはマンギエンの生活改善を目的としており、隊員に期待されるものは食生活の改善に関する分野であるが、どうもこれに農業一般に関する指導以外にも幅広い技術・知識を欲している。(家庭教育も含め)**
- ③ 業務の形態: **青年局を対象とする普及指導及び現地定着化のための委託栽培等。**
- ④ 対象者: **ハヌオ・マンギエン族** カリヤパート: **ナシ**
- ⑤ 現地で利用している機材: **スプレー(2)及びクワ、シパル等農具**
- ⑥ 才三個人数: **昭和55年7月現在 ナシ**
- ⑦ 使用する言語: **マンギエン語・タガログ語**  
\*対象とするマンギエンで英語と話せる者はほとんどおらず、タガログ語の訓練が必要と思われる。しかしながら農業に関する専門英語はボス(オランダの神父でマンギエン語、タガログ語と自由に使うことができる)との意見交換などある程度必要と思われる。才三個人の内、才三は、ある程度英語と話せることを希望する。

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待: (今村広行隊員、54/1の交情要請)**

**マンギエンの食生活の改善が第一であるが、これと並行して、現金収入の道もたいしてほしい。**

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

**学歴は向わない。特に高度の技術・理論は望まないが、農業一般に肉づき経験があり(果樹・家畜も含む)、実際にそれができる人、(農家育ちで実務経験のある)と望む。経験年数は要務いなし。**

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 4 月 10 日

102 食用作物

調査者氏名 真野 忠雄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	園芸 (農芸一般)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Culture, Youth and Sports.  
 (日本語): 文化青年スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: National Youth Training Center 日本語名称 (青少年訓練センター)  
 所在地: Dusun Tua, Selangor 主要都市からの距離 (Kより20キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1966年創設, 職員数350人, 生徒数1000~2000人, 62工場の敷地を有し, 初中等教育を終了した者を対象に職業訓練を施す。  
 コ-2の移転: 農業, 自動車整備, 建築大工, 電気, 洋裁, 商業

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ・ 現地研修で観望拒物など園芸の研修は居るので隊員の農芸一般果樹, 野菜等 ~~の~~ 栽培方法, 土壌肥料, 病虫害防除, 12コ-2教える事になった。
- ・ 現在農芸校棟コ-2に山田隊長が活動中。
- ・ 使用言語 → マレー語。
- ・ 携行すべき機材不要。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

過去に農芸関係隊員が配属されたが, 当時のスタッフが移動, 転職等で去り, 経験ある指導員が不足し, 技術の停滞が目立つ。  
 新しい技術の導入と後継者養成に隊員の貢献が期待される。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高卒以上, 農芸経験で農芸一般12コ-2, 理論上の実習指導  
 ができる可

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 4 月 日

10301 花 き

調査者氏名 在パラグアイ国  
海外駐在員 望月 久

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
PARAGUAY	(現地公用語) FLORICULTURA	(男) 1 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 花 弁	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56 年 2 月 受入期限 6 年 3 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Ministerio de Agricultura y Ganadería (MAG)

イ. 配属先名称 (現地公用語): Servicio de Extensión Agrícola y Ganadera (SEAG).

(日本語): 農牧省 農牧普及公団

ロ. 隊員勤務先名称: Agencia de San Lorenzo 日本語名称 (サンロレンソ 普及事務所)

所在地: San Lorenzo, Central 主要都市からの距離 (首都より) 12 キロ

ハ. 事業規模及び内容: 農牧普及公団本部はカロンソあり 全国約 58ヶ所の普及事務所を統轄し約 140名。普及員を各事務所へ配し、農業・牧畜の普及、4-C (時約 4-H 相当) クラブの指導、生活改善組合指導等広範囲の業務を所掌する。サンロレンソ普及事務所は本部に最も近い所

ニ. 設備概要: 普及指導を主要業務とする性格上、K 所在地同様、生活改良普及員 1 名が居る。機械等は皆無、唯一、隊員携行分のみ。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位 - 普及指導員

② 技術の範囲 - カネシオン、キフ、ブラジオリス バラ の栽培に 2~3 年の経験と有ることが望ましい。又 普及指導範囲の農家は、レタスを中心とした野菜栽培も行なっている為、出来得れば、野菜栽培に関する基礎知識もあれば良い。

③ 業務の形態 - 主要花卉栽培地である サンロレンソ近郊の ラウレルティ、ルーク、フェルナドデアモラ 地区の花栽培農家に対し、週 1~2 回の割合で巡回指導する。他、これら農家の土地を借用し、外国 (アルゼンチン等) 導入品種 (カネシオン、ブラジオリス etc.) の試験栽培を行なう。  
現地人農家の花栽培は、一年草を中心とした、初歩的な露地栽培である。

④ 対象者及技術水準 - 一般農家を対象 水準は初歩的段階である。

⑤ 利用できる機械 - なし (ごく基本的なものを除き、携行すべき必要もない)

⑥ オブコ人等の配置 - なし (他の普及事務所には、アメリカン・ピース・メンバーが派遣されている所あり)

⑦ 使用する言語 - スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当国に於いては、最近、花の需要が増大しているにもかかわらず、未だ自国産をもって十分供給し得るだけの規模技術が不足しており、コロンビア、アルゼンチン等からの輸入に頼っているのが実情である。このような背景下において、主に切り花であるカネシオン、ブラジオリス、キフ等の自国産供給割合を増加させ、ひいては、農牧省の政策としても掲げられている、小農家の生活向上、技術水準引上げに結びつきたいというのが、当国側の希望である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴は不問、経験 2~3 年と有ることが望ましく、且つ野菜に関する基礎知識と有ればなお良い。



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年3月31日

10302 野 菜

調査者氏名 神谷 弘司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン 共和国	(現地公用語) Horticulture	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 園芸作物(野菜類)の栽培	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 55年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Western Luzon Agricultural College (WLAC)  
(日本語): 西部ルソン州立 農業大学

2. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 ( )

所在地: San Marcelino, Zambales 主要都市からの距離 マニラより154キロ

3. 事業規模及び内容: 268haの敷地を有し(そのうち20ha)高等部生徒数1,038名, 短大部117名, 大学部237名, 教員数50名, 職員数30名から成る上記の州立農業大学への派遣。昨年年度当校の総予算は110万ペソである。

4. 設備概要: ナーサリー, 育苗用建物1棟, ハイドロニクス, 温室(建設中)等

(2) 隊員の業務内容: 当校には Crop Science と Horticulure から Agronomy まで非常に範囲が広い。中でも 野菜栽培, 果樹栽培 (マンゴ, カシ, サツ) , 稲作 及び 食用作物の栽培。

雨期には上記の野菜栽培地帯及び食用作物地帯が全て稲作地帯に変わっていく。隊員は以内野菜系統, 食用作物系統を担当するのカーネルとして働くことになる。

① 隊員の業務上の地位: インストラクター兼アドバイザー

② 技術の範囲: 野菜栽培全般, 圃場管理技術, 種子生産, エンジン等食用作物の栽培技術。

③ 業務の形態: カルビン生徒を対象に上記内容の講義, 実習を担当する。カントリーパートと共に栽培実証研究を行なう。食用作物(野菜類)の生産の妨げ。

④ 対象者及びカントリーパートの技術的水準, 学歴及び年齢: カルビンの生徒。カントリーパートは当校のインストラクターで MR. LAZARO LUCAS 24才, 農業大学 BSAA コース卒業, Agronomy and Horticulture の専攻。当校での経験は1年。

⑤ 現地で利用して種子栽培: シロベロ, クワ, 噴霧器, 及び簡単な農機具。

⑥ 母国人名: なし。

⑦ 使用言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規開墾。

乾期の水不足, 雨期の洪水加之で土地全体が Sandy であるため栽培は非常に困難。現状にある。少なくも乾期の水不足確保及び土地改良(部分的)を施し野菜の生産が可能になる。学校での消費供給の妨げ。地域社会への野菜等の供給(種子も含む)が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 日本産, 2. 野菜栽培(種子生産を含む)の経験が2年以上あること。
  - 3. 英語力があること。
- 内容から範囲に亘るため農業育才で1.5ヶ月から栽培に親しんでいる人を探したい。

10302 野菜

記入昭和 55 年 1 月 10 日

調査者氏名 福島勲治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Vegetable Growing	(男) / 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人	派遣予定 56 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): office of the Governor, Davao Dn.  
(日本語): ~~...~~ ガバナー・ヘネロソン市

ロ. 隊員勤務先名称: Municipality of Gov. Generoso 本語名称 (ガンバナー・ヘネロソン町)  
所在地: Sigaboy, Gov. Generoso, Davao Oriental 主要都市からの距離 (Natiより 80キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

野菜モデル地区 2ヶ所 (1ha, 0.5ha 作物: タイコン, キャベツ, トマト, ナス, キュウリ, コーナッツ など一般の野菜作物) 及び稲作

ニ. 設備概要: 技術普及指導

(2) 隊員の業務内容:

去年から始めた Provincial Priority Project の I. A. D. (Integrated Agricultural Development; 農業総合開発) 計画に基づき この Municipality において、野菜生産地を築き、僻地における自給自足体制はもちろんのこと、大々数の貧しい農民の経営改善増進に貢献せんと私の業務がはじめられた。今のところ 2ヶ所の地域で野菜のモデル生産地を現地の技術者たちとともに取り組んでいるがまだまだ自給自足体制までは不十分である。又この Municipality の半分の地域は、木舟と交通機関とする不利な所であり、今後こうした地域における野菜を含めた作物一般の自給自足はもちろんのこと、農民の経営増進に迅速に活動することが望まれる。

また Province の方で今年から新たに I. A. D. 計画に基づいて、他の Municipality における野菜モデル地区の技術指導も依頼されており、今後広範な活動が展開される。

一般には現地語で「セブア」語を用いるが、公的には英語を用いる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

有用な 福島勲治 隊員の交替要請。  
当 Province には現地の野菜栽培技術指導、普及者が見あたらず、I. A. D. 計画推進及び技術者養成の意味も含めて、今後とも隊員の活動が望まれる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 大卒程度 (なるべく)
2. 稲作知識をもちいる人又は興味のある人

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 55 年 8 月 1 日

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) VEGETABLE GROWING	(男) 1 人	訓練開始 56 年 4 月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人	派遣予定 56 年 7 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 7 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): OFFICE OF THE CITY MAYOR, NAGA CITY  
(日本語): ナガ市市長室

ロ. 隊員勤務先名称: OFFICE OF THE CITY AGRICULTURIST, NAGA CITY (日本語名称 (ナガ市農業室) )  
所在地: CITY HALL, NAGA CITY 主要都市からの距離 (マニラより 440 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ナガ市農業室は農業省の市の窓口として、農業、生活、青年活動等の普及員を 7 名、Plant Propagator, Plant Pest Control Officer, Livestock Inspector 各 1 名 その他市農場 7 カ、事務員を含め 20 名が農業技術、生活改善、青年活動、植樹運動等の業務を担当している。  
ニ. 設備概要: 市庁舎 4 階のオフィスを持ち、市庁舎前のガーデンと市郊外 11km 24ha の市農場を有し、JOCV からの 33 馬力乗用トラクターが使用されている。

(2) 隊員の業務内容: ① 隊員の業務上の地位……市農業室では Vegetable Growing Specialist として活動し、業務の計画等については市農業室長と同等の地位にある。  
② 技術の範囲……技術は主にキャベツ、トマト、ナス、スイカ、カボチャ、雑豆類等の作付けにおける露地栽培、病害虫防除、播種等の技術が要求される。  
③ 業務の形態……市農業室長と業務計画を協議決定し、野菜担当の普及員と共に指定された野菜栽培農家に巡回指導を行ない、定期的にそれら農家や部落の学校や教会を利用して野菜栽培講習会を開く。  
④ 村衆者及びカウンターパートの技術水準・学歴及び年齢……対象の農民の平均的学歴は小卒または高卒中退であり、専門的知識はほとんどない。その普及にあたっては彼らの教育水準を考慮しなくてはならない。  
またカウンターパートは全て 4 年制農科大卒で年齢は 23~29 才であるが、野菜の栽培技術だけを限定に見た場合、技術水準は一般に低い。  
⑤ 現地で利用できる機材……1972 年頃、隊員によって導入された 33 馬力の乗用トラクター (ロタベーター、プラウ等のアタッチメント付き)、簡易土壌検定器。  
⑥ 職場に於けるオス 3 国人及び日米専門家の配置状況……配属先にはいないが、カビネス、スーパースタール農業普及局に FAO より日本人肥料専門家が、他にピコル河流域開発計画に多数の米国人専門家、さらに平和部隊がいる。⑦ 使用する言語……ピコル、タログ、英語 (公文書)。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 人口 10 万のナガ市の低い野菜自給率を考えると、前任の上で始められた特定農家巡回方式による野菜栽培普及は効果的ではあるが、農家数に限度があり、これをさらに拡大させ自給率をさらに上昇させる為には、80 年 7 月より市側は Citywide Vegetable Demonstration Project を打ち出した。この Project は市農業室と隊員が中心となり 3 人の野菜栽培普及員を加えて生産のみならず野菜生産者組合の結成までが期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
① 学歴……農学部卒または短期農学部卒 ② 取得資格……自動二輪車免許  
③ 実務経験 1 年程度

(渡出招隊員、5 年前の交際要請。)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 55 年 8 月 6 日

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン 共和国	(現地公用語) Vegetable Growing	(男) 1 人	訓練開始 56 年 4 月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56 年 8 月 受入期限 56 年 9 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Local Government and Community Development  
(日本語): 地方自治体及地域開発省

ロ. 隊員勤務先名称: Agro-Reserch Center 日本語名称 (農業試験場)  
所在地: Tabuk, Kalinga-Apayao 主要都市からの距離 (Tuguegarao より 60キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

州立農業試験場を建設している段階である。

総面積 6ha (稲作圃場 3.5ha, 野菜圃場 0.5ha)

ニ. 設備概要: 大型トラクター (Ford 5000) をはじめ 最低限の機械はとっている。

しかし、日本の農業試験場の前段階ということも考慮に入れてほしい。

(2) 隊員の業務内容:

① Agro-Reserch Center の Vegetable Growing Specialist が業務上の中心である。

② 技術の範囲は、野菜の Demonstration が中心になり、時には、農業者より種子生産の依頼がくることがある。この品種はたいんに強いので、少し栽培経験があれば問題は無い。日本のように手回しの栽培技術は必要でない。

③ 業務の形態は、いさお農場において、Worker とこの Technician に教えるが、いさおに働くことになる。また、農家への Extension Work も行うことになるだろう。

④ BAE の 1 人、BPI の 1 人のカウンターパートがくることがなっている。技術水準は、日本の農業高校程度。いさお大卒者であり、25才~30才前後。現在 BAE のカウンターパートが日本で研修中なので、彼らの帰国後はカウンターパートにかなり期待がでるものと思われる。

⑤ 利用される機械は FORD-5000 からカンマ-ハンドトラクターまで、最低限のものがとっている。

⑥ 職場にいるのは、すべてフィリピン人である。参考までに、この Province の Tuguegarao には JICA の Project があり、日本人の専門家が 1 人いる。

⑦ 使用する言語は、英語が主体である。現地語はイロカノ。タガログも使用可。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

森 切隊員 (54/1 次隊) の交替要請。  
州立農場建設という大きな Project は、協力隊員一代で終わるのでは無く、何代もの隊員が必要になる。現に、この Project にかかわった隊員は、稲作 4 代、野菜 3 代、土木 3 代である。これ、Province の JOCV に対してかかる信頼、期待というものは、たいんに大きなものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴 大卒程度、大型特殊免許、実務経験 2~3 年程度

種子生産の経験があればよい。稲作ができること。

現地到着時の年齢は (25 才以下)。農業機械に詳しいこと。

技術よりも体力があればよい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 54 年 5 月 28 日

調査者氏名 草野忠行

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Taman Sayur	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Lembaga Kemajuan Tanah persekutuan (Felda)  
(日本語): 土地開発公団

ロ. 隊員勤務先名称: Felda 入植地 日本語名称 ( )  
所在地: 木根 (隊員派遣が決定後決まらぬ) 主要都市からの距離 ( より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: Felda の 1 つの入植地面積約 4000 ~ 5000 ไร่, 入植家族数 400 家族からなる入植地と今土に約 202 軒の村有にあり オレカン, シンガ, 豆の栽培, 生産にまわっている

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- 各入植者の家と巡回訪問し, 庭先や近くの空地に自家消費用野菜を栽培する善い指導が要請されている
- Felda の野菜栽培隊員専属のカーブ (野菜栽培普及隊) を設置するに必要のカーブに対しては野菜栽培技術を指導すると共に, 11 月には普及活動を行う。
- 入植者の主な仕事は オレカンや工場の管理であり, 自家菜園の管理も主な仕事の残り余暇の時間となるので巡回指導は午後 4:00 まで開始し, 12 月まで午後の時間内, 展示園の管理もついでされる。
- ナシ, 柚子, 瓜, スイカ, キウイ, 人参, 葉巻, トウモロコシ, トウモロコシ, 豆, 落花生等が植えられている。
- 使用言語 ⇒ ~~マレー語~~ マレー語 ・機材 ⇒ 作業衣 24 の携行が良い (レポートが書けるようにする)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

入植者が自家菜園をもち野菜を自給することと今後の現金支出を防ごうとするため, これまで数名の隊員が派遣された。(現在 6 名が活動中)  
これら先任隊員の業績が高く評価され今回の要請とされた。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 農学大卒卒業 (高卒併修農学専攻で野菜栽培の経験)
- 2年以上の野菜栽培の園芸実務経験と有る者
- 車庫 (90cc) 運転できる者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 3月 10日

10300 野 菜

調査者氏名 表 伸 一 郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Horticulture	(男) 1人	訓練開始 55年 10月
	(日本語) 10302 野菜	(女) 人	派遣予定 56年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management)  
(日本語): Ministry of Agriculture, 農業者農業普及管理局

ロ. 隊員勤務先名称: Sherpur Agriculture Extension Training 日本語名称 (シエール農業普及養成所)  
所在地: Institute マイクシ県シエール郡 主要都市からの距離 (ダカより170キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農業改良普及員を養成する政府機関。全国に8ヶ所あり、3ヶ所建設中。80年よりスタートする5次5ヵ年計画にて世銀の援助を得て20ヶ所と目標、全耕地面積24エーカー。

ニ. 設備概要: 事務所、教室、生徒寮、職員住宅等の他圃場用に耕耘機、深井戸ポンプ、かんがい用ポンプ、自動噴霧器

(2) 隊員の業務内容: 2年制の農業普及員養成所で、農学I, II, 作物保護, 農業機械, 農業普及, 園芸の6教科があり、隊員は園芸を担当し、主に実技指導にあたる。

1) 隊員の業務上の地位: 校長直轄の教官

2) 技術の範囲: 野菜全般特にキャベツ, カラワフ, スイカ等の圃場の作付計画をはじめとする栽培管理

3) 業務の形態: 圃場の栽培管理指導及び学生の実習指導ほらかに教室での講義

4) 対象者ほらびにカウンターパート: 学生は20才前後で10年教育の高校教育まで受けている。カウンターパートは大学4~5年。

5) 現地で利用できる機械: 上記設備概要の他トラクター等世銀からくる予定。

6) 圃場におけるカ3国人等: 農業機械, 稲作のJOCT隊員。

7) 使用する言語: 生徒とは全2バングル語。校長, 教官とは英語も必要。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 昭和49年以來隊員が続いている。中央農業者では圃場に入れたがらなり教官の意識改革を期待し、現場では農場におけるコンストラクションと実習指導および他国の情報提供等を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学部系短大卒以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 3月 10日

10302 野 菜

調査者氏名 表 伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Crop Production & Horticulture.	(男) 1人	訓練開始 55年 10月
	(日本語) 10302 野菜	(女) 人	派遣予定 56年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Agricultural Development Corporation. (BADC).

(日本語): Ministry of Agriculture and Forests. 農林省 農業開発公社

ロ. 隊員勤務先名称: Jessore Agricultural Development Estate, (ADE) 日本語名称 (Jessore 農業開発農場)

所在地: Jessore 県 Jessore 郡 主要都市からの距離 (Jessore 3キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農業開発公社は全国に4カ所の農場をもち、そのひとつ。(種目は別) 野菜種目生産、場内展示圃場を通じての農民への普及活動および農業技術向上を目的とし、普及、組合、農業機械を担当する副場長3人、普及員9人がいる。

ニ. 設備概要: 圃場面積20エーカー、深井戸ポンプ1基、トラクター7台、鶏舎(200羽)事務所。

(2) 隊員の業務内容: 普及部門を担当し、圃場での試験栽培、展示栽培を行う他、単位農協への指導、普及にあたる。初代は土壌調査をし、2代目は病虫害調査をした。

1. 業務上の地位: 農場での技術および単位農協への普及を担当する副所長格。4農場の年次場長総会には出席し、技術面での報告、建言にあたる。

2. 技術の範囲: 野菜を中心とした作物一般の栽培、普及技術。大根、トマト、キャベツ、ナス、じゃがいも、レタス、スイカ、いんげん等。

3. 業務の形態: 農場での試験、展示栽培の運営管理および普及活動。

4. 対象者およびカウンターパート: カウンターパートは普及員、大卒30前後。場長は日本で研修を受けている。

5. 現地で利用できる機械: トラクター、耕耘機、かんがい用ポンプ、単車等。

6. 取組での米3国人等の状況: いない。

7. 使用する言語: 農民にはベンガル語。農場、特に事務所内では英語も必要。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 4カ所の農業開発農場にそれぞれ隊員がおり、年次総会で報告をし、翌年の活動計画を練るといった形で理想的な協力体制と

なっている。各圃場とも10エーカーづつ面積を増やし、JOCVと公社共同で水路整備をしている。完全な組織の一員として活動しており、当面JOCV扱いは考えられない程になっている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学部系短大卒以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年3月10日

10302 野菜

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Vegetable Growing	(男) 1人	訓練開始 55年10月
	(日本語) 10302 野菜	(女) 人	派遣予定 56年2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): University of Chittagong, Ministry of Education  
(日本語): 文部省, チッタゴン大学

ロ. 隊員勤務先名称: Chittagong University Rural Develop. Program 日本語名称 (チッタゴン大学農村開発計画)  
所在地: チッタゴン県ハザリ郡アバド村 主要都市からの距離 (4がより20キロ)

ハ. 事業規模及び内容: CURDPはチッタゴン大学周辺農村の研究と調査を目的に、1974年より5年計画として出発した計画。学長と委員長とする13人からなる実行委員会があり、3農場を運営しており、隊員はその農場を勤務先とする。

ニ. 設備概要: 大学敷地1,400エーカー内に展示圃場、普及貸与圃場を有す。圃場取戻率12%。浅井ポンプ、ジープ。

(2) 隊員の業務内容: チッタゴン丘陵地は未開発地が多く、政府も食糧増産の観点から開発を重視しており、同大の農学科設置が進められている。そこではCURDPは重要な任務を担っており、隊員は農場運営の野菜、稲、果樹の作付計画、家畜飼育、果樹の全工程がまかされる。

1) 業務上の地位: Directorの下で農場運営にあたる。

2) 技術の範囲: とりあえず野菜と分類にあるも、稲、果樹、畜産等農業全般に関与する。しかしながら1人では不可能であり、隊員の持つ技術範囲で協力し運営主体となる。

3) 対象者およびカテゴリー: 対象者は農場内では労働者、普及では農民とあり、現時点ではカテゴリーはVII。

4) 利用できる機械: 上記設備の他農具

5) 専門知識: チッタゴン大内には英語教師の英口ホランティイカヒタカ今はいない。他にJOCV隊員1名。

6) 使用する言語: ベンガル語、英語もかなり使用される。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 大島健策JOCV隊員交代: 資金、人材難、局長の交代等から、やっと圃場を圃場らしく整備すること、道づくりを後任に託すこととなる。理想と現実の差は大きく、息長い協力が必要である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学部4年制卒。唯一の学内の場での協力であり、学生実習も受けること。学部卒。



# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 54 年 9 月 5 日

10302 野 菜

調査者氏名 熊野 秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラディシュ	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	Vegetable Growing	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	野菜		

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): *University of Chittagong, Ministry of Education*  
 (日本語): 文部省知73大学

ロ. 隊員勤務先名称: *Department of Botany* 日本語名称 (植物学科)  
 所在地: *Chittagong District* 主要都市からの距離 (約) 20 キロ

ハ. 事業規模及び内容: 植物学科は通学、教育、研究の地。約 30 エーカーの植物園の管理業務及び  
 1,300 エーカーの大学構内の並木庭園の管理を行なう。植物園下は紙幣の学内的実  
 験、研究、普及を前提として果樹栽培プロジェクトおよび運営資金調達のための野菜栽培を行な  
 ぬ。

ニ. 設備概要: 植物園には 50CV の噴霧器 (1 畝 1 馬力)、ポンプ (7.5CV 5 馬力) 以外  
 のは全くない。実験室には基本的な実験器具 (顕微鏡、pH 計、恒温器等) が揃っている。

(2) 隊員の業務内容: 植物園の管理及び学生の学習指導が主たる業務となる。諸条件が揃  
 っていない場合は、授業に於ける講義も担当する。

イ. 隊員の業務上の地位: 園芸の専門家として教師と同格扱い。

ロ. 技術の範囲: 野菜栽培全般にわたる技術。その他に果樹 (主にバナナ)、交配等の育種  
 技術、農業全般にわたる知識が求められる。非常に役立つ。

ハ. 業務の形態: 植物園の管理及び学生の学習指導

ニ. 対象者及びカウリー・パート: 学生は日本の大学生と同じ年齢であり、植物学の知識は  
 あるが、農学の知識特に実地面の知識は皆無の等しい。カウリー・パートである植物  
 園主事は植物学者であり独学の上で農学の知識は豊富。しかし実地面の弱い。植  
 物園副主事は農業短大出身で実地面が比較的強いが理論面は弱い。

ホ. 現地下利用可能な材料: 上記(ロ) = 及び簡易土壌検査器

ヘ. 取場に於ける対人等: なし

ト. 使用する言語: ベンガル語及び英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 要請者の植物学科長は協力隊員について熟知して  
 おり、その知識と技術を高く評価している。当然技術と長は優秀な隊員の  
 受入を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 日本以上の学歴 (偏重社会の中、大学  
 卒) (4 年制大学卒以上) の学歴と 1 年以上の実務経験が必要。  
 業務上の主たる対象者が大学生なので年齢 25 歳以上が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 2 日

10302 野 菜

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Bangladesh	(現地公用語) Crop Production and Horticulture	(男) 1 人	訓練開始 56 年 4 月
	(日本語) 10302 野菜	(女) 人	派遣予定 56 年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Agricultural Development Corporation (BADC)  
(日本語): 農業省農業開発公社

ロ. 隊員勤務先名称: Patiya Agricultural Development Estate (日本語名称 (ポティヤ農業開発農場))  
所在地: 主要都市からの距離 約 25 キロ

ハ. 事業規模及び内容: 農業開発公社は全国に4カ所の農場を持ち、そのひとつ(種苗は別)都市近郊農村開発のための農業普及、展示圃場、農業協同組合の組織化、育成の3部門から成る。農場敷地 227 エーカー、運営年間予算 700 万円。

ニ. 設備概要: 耕作面積 18 エーカーの展示農場、事務所、教室、修理工場、貯水池、鶏舎等。

(2) 隊員の業務内容: 農場普及部門を担当し、農場内での試験展示栽培を中心とし、普及員とともに周辺農家に対して野菜栽培の普及活動を行なう。また、教室で週2回開かれるモデル農家対象のトレーニングクラスにも講師として参加する。

1. 隊員の業務上の地位: 農場での技術および周辺農家への普及を担当する副社長程度。

2. 技術の範囲: 野菜を中心とし、果樹も含めた作物一般の栽培技術。  
大根、トウモロコシ、キャベツ、ナス、ジャガイモ、トマト、スイカ、インゲン等。

3. 業務の形態: 農場での試験、展示圃場の運営管理、周辺農家への普及活動。

4. 対象者およびカウンターパートの技術水準: 直接の対象者は農民。カウンターパートは大学(農学専攻)卒 30~35 歳の普及員。

5. 現地で利用できる機械: トラクター、耕運機、灌漑用ポンプ等。

6. 取場におけるオランダ人等の状況: 現在は JOCV のみ。近くアメリカの民間援助機関 CARE から市場改善の専門家派遣される予定。

7. 使用する言語: 農民にはベンガル語(方言がある)。農場内では時に英語も必要。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 4カ所の農業開発農場にそれぞれ隊員がおり、

年次総会で報告をし、翌年の活動計画を練るといった理想的協力体制と化している。2次5か年計画で16増設の20カ所にする予定。ポティヤは水の問題があり、農業土木隊員によって研究されるだろう。3代目となる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学部系短大卒以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年12月22日

10302 野菜

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Vegetable Breeding	(男) 2 人	訓練開始 55年4,6月
	(日本語) 園芸作物	(女) 人	派遣予定 55年8~10月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Citrus and Vegetable Seed Research Centre  
(日本語): 相橋・野菜種子研究センター

ロ. 隊員勤務先名称: Rangpur, Ishurdi Sub-Centre 日本語名称 (ロソクール, イシュルディ)  
所在地: Rangpur, Mahisgong, Ishurdi 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: Rangpurは現在BARI (Bangladesh Agricultural Research Institute) の棉花試験地として使用しているが近々野菜種子研究センター専用とする。圃場35エーカー。Ishurdiも野菜種子センターとしては未整備。

ニ. 設備概要: 耕耘機, ポンプ, 事務所, 宿泊施設なし。

(2) 隊員の業務内容:

(1) 隊員の業務上の地位: 主任研究官と研究官の中間程度

(2) 技術の範囲: 野菜の試作, 外国導入種・現地在来種より商品種の選抜, 育成, 採種が主な業務となる。キャベツ, ブロッコリ, カラシナ, カイラン, マスタード, 大根, カンコン, 豆類, スイートコーン等。

(3) 業務の形態: 主センターの指示に基づき上記業務を研究官と共に行う。普及業務はない。

(4) カウンターパートの技術水準: 主任研究官は大卒(修士)後経験5~8年, 研究官は3~5年。

(5) 現地で利用できる機材: 現在未整備なるも日本の機材がくる不定。

(6) 取場における専門家: サブセンターにはいないが, 主センターにJICA専門家3~4名(リーダー1, 果樹1, 野菜1, 調整員1)がいる。野菜, 果樹専門家は協力隊OB。技術的アドバイス, 協議は出来る。

(7) 使用言語: ベンガル語 オフィスは英語可。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 野菜普及のネックは種子生産にあり, CVSRCは種子・相橋研究所を以てJICA協力に基づき設置された。在来種の種子改良, 選抜は以前の主センターのみならず, 各サブセンターの気候条件等にあつた種子研究をする必要があり, 各サブセンターの技術面を隊員に期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒。試験研究の知識あることが望ましいが, 当初はキャベツ・ブロッコリ・マスタード栽培が主となるため, 明確な志望強健を求めない。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 12 日

10302 野 菜

調査者氏名 表 伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Vegetable Seedling	(男) 人	訓練開始 56 年 4 月
	(日本語) 10302 野菜	(女) 4 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56 年 8 月 受入期限 56 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Women's Programme, Integrated Development Programme (IRDP)  
(日本語): 総合農村開発計画 婦人プログラム

ロ. 隊員勤務先名称: Jhikagacha Bishasha Rural 日本語名称 ( 農村婦人組合 )  
所在地: Women's Co-operative. 主要都市からの距離 22 マイル

ハ. 事業規模及び内容: IRDP 婦人プログラムは1974年よりスタートしているが、実績、規模も小さく、同教国の婦人の社会的地位の向上を目指し、2次5年計画により婦人の経済的生産活動に従事するための指導が取上げられている。

ニ. 設備概要: 全国に190の婦人組合があり、シカガチャは13村約1,500名、ジャバは18村 600人程のメンバーがいる。

(2) 隊員の業務内容: 婦人プログラムは、家族計画の推進その他、農協での家政講習会や飼育、養鶏、家庭菜園、手工芸、草竹工芸への貸付等を実施してきた。今回の野菜は、夫が稲作に忙しい内、家庭用菜園促進のため、周囲で出来る上記の全般について指導して欲しいとの要請である。併せて野菜種子の生産も行われ商業ベースにのせた場合の意向があったが、農業に暗い人たちの企画であり、あまり深く考える必要はないと思われる。

- 1) 隊員の業務上の地位: 婦人組合の助言者
- 2) 技術の範囲: 野菜の栽培技術がある他、生活改良普及目的に幅広く一語に於て工夫できる人。
- 3) 業務の形態: 組合員のいくつかの園場指導。
- 4) 対象者およびカウンターパート: 農村女性が対象であるが社会に支障の場合が多くほとんど文盲の人たちである。
- 5) 現地で利用できる材料: プロジクターとテンプルカー程度。
- 6) 取場における外国人等: 中央にアドバナーと2名西婦人。
- 7) 使用する言語: ベンガル語
- 8) その他: モスリの農村社会に外人女性が住むには1300名程困難な伴に、相応の覚悟が必要。2人ずつペアと成り入る。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 婦人プログラムの責任者は昔、日本人専科家の婦人に接し、何をやっても見えており、短期に稼げる程期待している。しかしながら、各技術について素人であるため、企画もパイプの域に止まり、隊員によって実地づくりが求められる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
農学部卒、初級JOCV女性隊員として、閉鎖的農村社会に住むことに挑戦してやるという心構えのある人。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 9 月 2 日

10302 野 菜

調査者氏名 表 伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Crop Production and Horticulture	(男) 1 人	訓練開始 56年 4 月
	(日本語) 10302 野菜	(女) 人	派遣予定 56年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 5年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Agricultural Development Corporation (BADC)  
(日本語): 農業省農業開発公社

ロ. 隊員勤務先名称: Kachimpur Agricultural Development Astate (カチンプール農業開発農場)  
所在地: 主要都市からの距離 (ダッカより40キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 近隣農民への普及活動および機械化を含めた農業技術向上のため、約60エーカーのモデル農場で野菜種苗生産、デモンストレーション栽培、農民教育等を行っている。

ニ. 設備概要: 事務所、教室、農機修理場、野菜販売所、倉庫、鶏舎、取戻住宅等  
深井戸ポンプ一基

(2) 隊員の業務内容: カチンプールADEが実施している業務のうち普及部門を担当し、展示圃場において近隣農民のために栽培品目、作期の決定および普及しつつある野菜の定着化促進のためのモデル農法を中心にデモンストレーションを行う。

1. 隊員の業務上の地位: 普及部門を担当する農場長補佐役
2. 技術の範囲: 日本種、現地種及びチリ、メキシコ、インド熱帯野菜の栽培、普及および簡単な品種の採種技術。
3. 業務の形態: 農場での試験、展示栽培の運営管理および近隣農民への普及活動
4. 対象者およびカウンターパート: 直接の対象者は当国ではレベルの高い農民。カウンターパートは農業大卒業のオフィサー。
5. 利用できる機械: トラクタ、耕耘機、トラック等。その他農機具は十分そろっている。
6. チリ人等専門家: チリ CAREからのチリ人1名が業務上別、養鶏 JOCV 1名兼任予定。
7. 使用する言語: ベンガル語、ただし英語もかなり必要

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 4A目とする。現在カチンプールのADEに隊員がいるが、ダッカという一大消費地に近い農場として、新品種導入等最も進んでいる。来2次5ヵ年計画には216増設が予定され、現場での技術も JOCV に期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学部系短大卒以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 7月 30日

10302 野 菜

調査者氏名 山下 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定	
ネパール	(現地公用語) Vegetable Cultivation	(男) 2人	訓練開始	55年 10月 12月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人	派遣予定	56年 2月 4月
		(どちらでも可) 人	受入期限	年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Food and Agriculture, Dept. of Agriculture  
Vegetable Development Division  
(日本語): 食糧農業省, 農業局, 野菜開発課

ロ. 隊員勤務先名称: Kakani, Daman, Gorkha (各1名) 日本語名称 (カニ, ダマン, ゴルカ 農場)  
所在地: 政府農場 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: カニ農場 - Thansing, Trisuli 地区農民を対象とする。  
ダマン農場 - Tistung, Palung, Daman 地区農民を対象とする。  
ゴルカ - Mugling・Dhuni-besi 向の道路沿い農民を対象とする。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業務上の地位: 隊員の技術程度により相手側の対応も異なることもあるが一般 Gazetted III class officer とする
- ② 技術の範囲: 各農場でワークショップ野菜生産のデモンストレーションを実施するとともに。
- ③ 業務の形態: 対象地域農民に種子・苗を配布し、商品作物生産の規模で経営できる程度にまでアドバイス、技術指導する。(普及活動)
- ④ 初任ポイント: JTA (農業技師補) が初任ポイントにつく予定。
- ⑤ 利用される機材: Local Tools, Sprayer 程度
- ⑥ 第三国人: なし
- ⑦ 使用言語: ネパール語

対象野菜: キャベツ、ダイコン、カブ、カリフラワー、かじ、トト、シカバネ、グリーンピース 他

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

富安大泉両隊員のカニ、ドネバシ、タマン農場周辺での活動実績が農業局及び地元農民に高く評価され、後続隊員の要請がなされた。カニ・タマンは標高が2000m以上ありカニ・タマンに未だに seasonal plus off seasonal 野菜をカマン市場に供給する適地である。後任隊員は前記両隊員の軌道に乗せた業務を引き継ぎ、農民の換金作物(野菜)生産規模拡大を助言・技術指導する業務が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○大学農学部卒 ○野菜栽培技術経験

2名交替(富安、大泉)、1名新規

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 8月 29日

10302 野 菜

調査者氏名 平沢 昭男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
スリランカ	(現地公用語) Horticulture	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 園芸作物(野菜)	(女) 人	派遣予定 年 月
	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと	

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): National Youth Service Council

(日本語): 国家青年奉仕評議会

2. 隊員勤務先名称: Nilaveli Training Center 日本語名称 (ニラヴェリ トレーニング センター)

所在地: Nilaveli, Kumburupitiya 主要都市からの距離 (コロンボより 21キロ)

3. 事業規模及び内容: 1979年度の予算は2000万ルピー (約2億8000万円)、国内全域を7つのリージョンに分け、それぞれにリージョナルオフィスと自給自足の中心となる7つのセンター (新設中20箇所を含む) のトレーニングセンターがあり、各地で Vocational school の青年達に、村営にかける47-50% のトレーニングセンターを建設する。農業、訓練生用宿舎などの建設、農場。

4. 設備概要: 教育、自立のための教育訓練施設。

センター建設の事務所、教室、訓練生用宿舎などの建設、農場。

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: Instructor (Centerの長である District Youth Service Officerと同等の扱いになる)

2. 技術の範囲: センター全体の位置が海岸に近く、農場の土壌は全体的に砂質である。出来れば砂質土壌での野菜栽培経験のある者が望ましい。玉ねぎ、ニカラリ、人参、トマト、キャベツ等一応野菜全般の栽培技術が望ましい。

3. 業務の形態: 実習園場の管理と実習指導 (午前) 及び講義 (午後) 等。センターでの訓練を終えて、受取った若者には、近くの未開拓地に3-5人ほどあり、これを“卒業生”に対する受け付け指導も業務の一環として組み入れられる。

4. カリキュラム等: 直接指導の対象となる生徒は農家の出身者で年齢は主に20-22才。カリキュラムとしては22-23才までは GCE (A level) 2年、Technical Collegeで3年間農業を学んだか、実践技術はない。

5. 利用可能な機材: 基本的には農具、耕耘機、ポンプ等。

6. 他国の人等: 現在UVVが3人いるが、お勤りに来たというところはない。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 7. 使用する言語: シンハラ語

Nilaveli Training Centerは55年1月に開所されたばかりで、約40-50人の農業、建築 (シカボタ) 等を学んでいるが、農業に関してはまだ大きな所がある。構造的な遅れがあり、この点での協力を望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業高校卒以上、農家出身で経験が豊富の方が良いのは当然である。年齢25才以下。  
○ 単車免許

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 58年10月22日

10302 野 菜

調査者氏名 柳 繁 泰

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
インドネシア	(現地公用語) Horticulturist	(男) 2人	訓練開始 年 月
	(日本語) 園芸作物	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture  
(日本語): 農林省

ロ. 隊員勤務先名称: Agricultural Development Dept. 日本語名称 (農林省農林部園芸課)  
所在地: Horticulture Unit (ジャカルタ) 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:  
農林省の一部局として、各州における園芸開発の中心的存在として、かんがい設備の建設、農法改善、生産増加にあたり。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

1. 技術者

2. 本部に属し出張型をとり園芸作物の指導にあたり、あついで14州内の一州に配属される。

- 1) 任地の園芸作物生産全般に関し地域住民の指導にあたる。
- 2) 農林省所有の苗床場、及び試験場の監督にあたる。
- 3) 農林協同組合及び他関係組合との協力にあたる。

3. カラクターレポートとしては、本部の園芸課長 及び各州の ADD 職員

4. 英語 農民とのやりとりはアムハラ語  
農林省内部では英語が重視され、報告書の提出も必要と  
なるので英語力を必要とする。

5. 現在 ADD の隊員一人 (農林) 配属中

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当国の農業生産は拡大 地方の安定、労働者雇用の面から  
も強く期待されており、早期派遣を望まれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒  
農学部  
1~2年の経験



# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 55 年 9 月 9 日

調査者氏名 黒田 一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語)	(男) 2 人	訓練開始 56 年 4 月
	HORTICULTURE	(女) 人	派遣予定 56 年 8 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 8 月迄に現地到着のこと
	野菜栽培		

**(1) 配属先**

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF AGRICULTURE

(日本語): 農業者

ロ. 隊員勤務先名称: DISTRICT AGRICULTURAL OFFICE 日本語名称 ( 県農業事務所 )

所在地: 各県庁 主要都市からの距離 ( より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 果物の農業を主管する事務所であるが、日本の中・小都市の農業主管課程度のもの。

ニ. 設備概要: 事務所と附属の試験場の設備がある場合が多い。

**(2) 隊員の業務内容:**

1. 業務上の地位: 技術普及員
2. 技術の範囲: 野菜栽培全般。場合によっては果樹栽培が含まれる
3. 業者の形態: 普及活動及び展示菜園の管理
4. 対象者(相手): 農民が対象であるが、カウンターパート的存在としてケニア人普及員の家が作業員がいる。
5. 利用する機材: ない。
6. 外国人との関係: 平和部隊(和)等と協働して仕事をする場合もある。他にドバイ人専門家が研修する等もあり。
7. 使用する言語: 英語・スワヒリ語
8. 交替かどうか: 一度交替要員と交代されるが、場合により新しい県に配属した可能性もある。  
交替の場合  
森正志(53.2.前)、黒田謙吉(54.2)の交替となる。

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:** ケニアは農業国であり、第4次5年計画に於ける教育と共に農業の振興に重点がおかれている。特に最近の海外へ輸出用の高級野菜の栽培技術の向上が目標となっており、日本の協力隊の活躍が大いに期待されている次第。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

短大又は大学卒。或は県の農業技術研修生卒であることが望ましい。但し(今回は22才以上)と若干の実地経験があることが望ましい。(専修免許)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

ザンビア

10302 野菜

記入昭和 55年 8月 7日

調査者氏名 奈良輪 睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Instructor of Vegetable Growing	(男) / 人	訓練開始 56年 4月
	(日本語) 野菜栽培指導員	(女) 人	派遣予定 56年 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年 8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture and Water Development  
(日本語): 農業・水資源開発省

ロ. 隊員勤務先名称: Zambia Center for Horticultural Training. 日本語名称 (ザンビア園芸訓練センター)  
所在地: P.O. Box 525 Kalulushi Kitwe 主要都市からの距離 (キツェより 22キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 当事業所は1962~1966年にかけて Kafue 川一帯を基盤とする多目的な農業調査プラン「フェア灌漑プロジェクト」の一環として設立された。その後FAOの資金技術援助のもと5年間契約で運営された後、1975年当国政府に移管され、野菜栽培、果樹栽培、灌漑の3部門を有する「ザンビア園芸訓練センター」として今日に至っている。敷地 70ha (灌漑地 38ha, 未灌漑地 32ha. うち実際に耕地化されているのは 7haのみである。) 年間平均雨量 1300mm 程度, カルシより南西 14km, Kitwe の田より 22km に位置し、校長以下 6名のスタッフ、5名の技術者、2名の農業アシスタント、52名の worker がいる。他にFAOより Chief 技術顧問 (ベルギー人) 灌漑専門家 (ノルウェー人) 各 1名 がいる。1981年度予算は 50万 Kwacha (1億 5千万円)

ニ. 設備概要: 教室、宿泊施設、図書館、食堂、発電機室、倉庫、水揚ポンプ (8インチ 2台)、農機具修理工場、養鶏場、貯水槽 (5万 m<sup>3</sup>)、スプリンクラー、事務所、他に各種訓練用試験場を有している。  
(添付写真参照)

(2) 隊員の業務内容: ① 隊員の業務上の地位: Vegetable Growing Instructor (野菜栽培指導員)  
② 技術の範囲: 野菜栽培の实地指導を主とするが、学料においても、農作物生態学、肥料及び堆肥、雑草除去、病虫害駆除、種子、作物生産管理のシステム化、市場問題といった、かなり高度な内容に及ぶ専門的知識にも精通していること。③ 業務の形態: 各州農業委員により選ばれた生徒に対してザンビアの国情に最も適するプランを立て、カリキュラムを組み、短期コースを設立し、講義と実習を兼ねた指導を行なう。④ 対象者及びカウンターパートの技術水準: 既に Secondary School を卒業し (学力は低い)、各地で農業に従事した経験をもつ者のうち、各州毎の農業委員により選ばれた 18名前後が指導の対象となる。彼らの水準は低い。カウンターパートは 2名。現在のところ、正しい技術、新しい知識を教える者がいないので水準は低く、彼らを育てあげることも重要な業務の一つとなる。⑤ 利用する機材: トラクターその他必要最低限度の農機具は完備している。⑥ 外国人: 現在のところなし ⑦ 言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: FAO 援助のもとに立派な設備を持つ訓練センターが栽培インストラクターのいないまま、低迷しつつ今日に至った。国の農業政策と相まって、こうした設備・機具をフルに活用し、土壌、水、品種 (子種) 等、野菜栽培の基礎学問を通じた实地応用面での指導を強く望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): ① 農業系大学卒で野菜栽培専攻  
② 現場経験 5年以上 ③ 単身免許 ④ 英語堪能 (5) できれば教授経験者が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54年 11月 10日

10302 野 菜

調査者氏名 小林 収

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
REPUBLICA DE HONDURAS	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	AGROPECUARIA GENERAL	(女) 人	派遣予定 1980 年 8 月
	(日本語) 野菜栽培	(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 MINISTERIO DE EDUCACION PUBLICA 文部省

1. 配属先名称 (現地公用語): DIRECCION GENERAL EDUC. MEDIA (DEPTO. EDUC. TECNICA)

(日本語): 中等教育局 技術教育課

ロ. 隊員勤務先名称: ESCUELA AGRICOLA "JOHN F. KENNEDY" 日本語名称 (当ンケネディ農業高校)

所在地: SAN FRANCISCO, LA CEIBA 主要都市からの距離 (首都より450キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 当ンケネディ農業高校は16才~20才の男子を対象とした4年制全寮の農業高校で、農業全般と海産物の養育を目的としている。国内面積は約2/ha (3002坪) である。野菜や果樹については全般的な農業が栽培されている。

ニ. 設備概要: 園芸用圃場 9ha の内野菜圃場1ha、果樹2ha、雑草地1.2haの圃場面積を有し、トウモロコシ、バナナ、ジャガイモ、アスパラガス、豆、カボチャ、パイナップル等が栽培されている。

(2) 隊員の業務内容:

業務内容は、午前中園芸圃場での生徒と指導員の仕事、午後授業を行う。特定の野菜の栽培指導を行う。若作物の栽培技術の指導を行う。又補給品の栽培指導を行う。

・ 隊員業務上の地位: 教師、他の教師に同等の地位。

・ 技術の範囲: 気候的条件を以て、栽培できる作物は栽培技術の幅が知識の広さと指導力に幅がある。技術が要求される。

・ 業務形態: 午前中園芸圃場、午後講義。

・ 対象者及びカリキュラム上の技術水準、当院年齢: 16才~20才の生徒が対象で、中等卒業の学歴を有する。

・ 現地で利用可能な機械: トラクター、コンクリートポンプ、スリッパ、動力噴霧機等一部の作業機械が揃っている。小型耕耘機も利用可能である。

・ 職場の状況: 園芸用圃場の配置状況、1979年11月現在土壌、化学薬品の使用、技術指導の状況、野菜栽培の状況は下記のとおり。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 中学卒業生は農業に関する技術の指導を受けるべく、この国の農業に携わりたい。その技術の向上を望むので、今後の人材育成に期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 大学の農学部農学科卒業、農学士の資格を有する必要がある。2~3年の経験があることが好ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和55年9月8日

調査者氏名 表 孝 雄 (表)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) HORTICULTURA	(男) 1人	訓練開始 56年4月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人	派遣予定 56年8月10日
		(どちらでも可) 人	受入期限 一年一月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): UNIVERSIDAD DE COSTA RICA  
(日本語): コスタリカ大学

ロ. 隊員勤務先名称: CENTRO UNIVERSARIO DEL ATLANTICO (本語名称)  
所在地: トゥラアルバ 主要都市からの距離 サンホセより67キロ

ハ. 事業規模及び内容: 10コース(学科)から成り、各コース20名~40名の学生が学んでいる。

ニ. 設備概要: 各校としてはますますの校舎 図書館等をもっている。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業務上の地位: 講師 (INGENIERO)
- ② 技術の範囲: 高校 (COLEGIO) を卒業した程度の者に2年以内のコースで野菜栽培について講義する他、農家への普及活動も行なう。対象となる野菜はトマト、ヒョウタン、豆 (フリホレス) カリフラワー等である。
- ③ 業務の形態: 教室型 — 実習あり
- ④ カウンターパート: 大卒の講師 (INGENIERO)
- ⑤ 現地にある材料: 大抵ではあるが実験用器具は揃っている。
- ⑥ 母国語: いない。
- ⑦ 使用する言葉: スペイン語

(詳細は別途資料参照)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 従来 教育機関のほとんどが、サンホセの近郊で中央盆地に集中していたが、地方に教育の機会を与え地域開発に貢献すべく同大学 (トゥラアルバ) がその一環として設立されたが教育スタッフ不足に直面している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 4年制の大学卒業者

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 55 年 3 月 22 日

調査者氏名 森 平 之 (印)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
田サマア	(現地公用語) Vegetable grower	(男) 1 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人	派遣予定 56 年 4 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 4 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Agriculture Extension Division, Dep of Agriculture & Forests*  
(日本語): 農林省

ロ. 隊員勤務先名称: *Nafanua Agriculture Station* 日本語名称 (ナファヌア農業試験場)  
所在地: *NAFANUA* 主要都市からの距離 (APIAより 10 キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

農場敷地 約 20 エーカー。場内に勤務先の *Small Crops* の建物, *Engineering Center*, *Carpenter's Work Shop*, *Plant Protection Laboratory* 等の施設有り。

ニ. 設備概要: 硬質ファバーガラス被覆の育苗舎一棟, 電熱土壌消毒機 1 台, 手動式薬剤散布機 2 台。  
圃場の耕起等は場内の *Engineering Center* が受けている。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 他の field officer の同等かむしろ上。(隊員の業務上の地位)
- ② 農場で行った試験を報告して品種もしくは栽培法の改善を農林省に提示。同時に一般農家・学校の要請による野菜栽培の実施指導。
- ③ 業務の柱として農場での試験栽培とモデル Farm の展示があり、技師という反面、農家を訪問しての栽培法の指導という改良普及員でもある。
- ④ カウンターパートという人物は現在無し。他の一語に働く officer の技術水準、知識は低い。全員専門教育を受けおらず、学歴も低い。
- ⑤ 場内にある *Engineering Center* でトラクター、手動式、動力式薬剤散布機と貸し出しが使用できる。  
(他国の専門家、ボランティアは)
- ⑥ 現在、J.O.C.V と除いて無し。
- ⑦ 英語、サマア語。職場内ではほとんどの人間がサマア語しか話せない。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

新しい農業開発計画 ~~(を予定している)~~ 農林漁業振興に力を入れている。特に野菜栽培に対する農家の意欲昂進している。野菜栽培の専門家としての我々に対する期待はかなりの大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 大卒又は短大卒で普及員の資格と有する若い人 (26 歳程度)
- 経験 2 年以上が望ましいが日本の栽培技術と当地の気候に大きな差があり有るの日本での経験が当地で生かせる。基礎知識の多い人が望まれる。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54 年 12 月 22 日

10303 果 樹

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Horticulture	(男) / 人	訓練開始 55 年 4, 6 月
	(日本語) 果 樹	(女) 人	派遣予定 55 年 8 ~ 10 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Citrus and Vegetable Seed Research Centre  
(日本語): 柑橘・野菜種子センター

ロ. 隊員勤務先名称: Chittagong Sub-Centre <sup>Jointipur</sup> 日本語名称 (427501, Jointipur)  
所在地: Hatazali, Chittagong, <sup>Jaintipur</sup> Sylhet, 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 柑橘類を主とした 15ヘクタールの柑橘研究所 (427501)  
" 50ヘクタール " (Jointipur-2)

ニ. 設備概要: 事務所, 職員宿舍, 牛車, 水道設備, 給電設備, 電話あり (427501)  
Jointipur-2 は現在電気が通じ、近々設置予定

(2) 隊員の業務内容:

(1) 隊員の業務上の地位: 主任研究官と研究員の中間。隊員の技術・能力によれば主任研究官と同等に扱われる。

(2) 技術の範囲: 果樹類の肥培管理, 接木, 芽接技術の指導が中心とほきか。当初は栽培と平行して建設作業等セクター施設業務もある。  
レモン, スイートオレンジ, マンダリンオレンジ, ラム類の他マンゴ, ヤシ, ジャックフルーツ等

(3) 業務の形態: 主センターの指示に基づき上記業務を研究官と共に行う。

(4) カウンターパートの技術水準: 主任研究官は大学(修士)後経験 5~8 年, 研究官は 3~5 年。

(5) 現地で利用できる機材: 現在未整備なるも日本の機材がくる予定。

(6) 取場における専門家: サブセンターには 11 名が、主センターに JICA 専門家及び調整員 4 名 (リーダー 1, 果樹 1, 野菜 1, 調整員 1) がいる。  
野菜, 果樹 専門家 は協力隊 OB, 技術的アドバイスは出来る。

(7) 使用言語: ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: CVSRIC は種子・柑橘研究所として, Bangladesh Agricultural Research Institute (BARI) の一部門を拡充し JICA 協力に基づき設置された。隊員はサブセクターの地域特性を考慮した試験場としての基礎整備ならびに試験研究の進行に寄与することを期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業種大卒 30才以下で資格, 経験等に拘わらず。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 7月 29日

10303 果 樹

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Horticulture (Pomology)	(男) 1人	訓練開始 56年 4月 6日
	(日本語) 園芸 (果樹)	(女) 人	派遣予定 56年 7月 10日
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Food Agriculture & Irrigation, Dept. of Agriculture  
(日本語): 食糧農業灌漑省, 農業局

ロ. 隊員勤務先名称: J.A.D.P. Sindhuli Farm or ADO  
所在地: Sindhuli District, Janakpur Zone  
日本語名称 (シズリ支場又は農業普及事務局)  
主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

Sindhuli (標高450m) Ramechhap (標高1500m)における果樹栽培の現状は散在的に柑橘類が入っている程度であるが、シズリ支場で温州みかんの苗を毎年1万本育種しており、これを Sindhuli, Ramechhap

ニ. 設備概要:

シズリ支場の面積約2ha (農場4.5ha, 建物2.0ha) 農民訓練用 bed 数 48 (苗床) 西郡に普及経:

(2) 隊員の業務内容:

<主な業務>

1. 柑橘類その他果樹類の栽培適地における栽培法の技術指導及び普及活動 (みかん, ぶどう)
2. シズリ支場圃場における種苗育成指導
3. 農民訓練における訓練活動
4. 地域住民との融和

ネパール語使用.

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現地 ADO (農業普及事務所)側は 本地域における過去の JOCV 隊員の活動を高く評価しており、シズリ支場山間部への果樹栽培普及活動に、新隊員を要請している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○果樹栽培の経験を有する  
学歴は特に大学卒である必要はない。  
身心共に山間部での生活に耐えること。  
<新規>

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

103園芸作物 (果樹)

記入昭和 54年 3月 21日

10303 果 樹

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Citrus Cultivation	(男) 6人	訓練開始 54年 8月 16日
	(日本語) 柑橘類栽培	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 55年 2月 4日 受入期限 年 月 迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Ministry of Food, Agriculture & Irrigation  
 1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Agriculture  
 (日本語): 食糧農業灌漑省, 農業局  
 2. 隊員勤務先名称: Eastern Development Regional Directorate (日本語名称 (東部開発農業支局))  
 所在地: ダンクラ 主要都市からの距離 (より キロ)  
 3. 事業規模及び内容: National Citrus Development Programme (ネパール柑橘類開発計画) はダンクラを中心とする 6地区 (district) で実施される計画であるが JOCV 隊員の着任後、実際に開始される。

二. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:  
 1. 業務上の地位: 開発計画の中で柑橘類栽培専門技術者となる。  
 2. 技術の範囲: 開発計画指定地区で地元農民 (果樹園 経営者) を対象に栽培の基礎技術から、経営まで  
 3. 業務の形態: 全般にわたって指導する。また現場での記録を報告し、将来のデータ作りもする。具体的には、地元農民に、苗床、播種、育苗、施肥、灌水、敷わら、病虫害防除、摘果、剪定、追肥、つぎ木等一連について、また、果樹園 経営者にも、地取り、整地、栽植、支柱、耕鋤、除草、施肥、灌水、敷わら、病虫害防除、整枝、剪定、等について指導する。  
 4. 対象者のカテゴリー: 各地区の Junior Technician or Junior Technical Assistant がつき、対象は J.T., J.T.A 及び地元農民となる。 (技術者として)  
 5. 機材: 特になし  
 6. 外国人技術者: なし  
 7. 使用言語: ネパール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 南州の丘陵地帯は気候条件からして柑橘類栽培の適地であり、そこで栽培される果樹のうち柑橘類の占める割合がかなり多い。地元農民は換金作物としての柑橘類の市場価値を認め、栽培に着手してきている。ネパール政府はこのような状況のもとに丘陵地帯での農業開発として柑橘類に重点を置く方針を打ち出したが、もとより地元農民に技術的専門知識がないため計画通りの収穫には及んでいない。農民に一通りの技術を身につかせようにも、当国に柑橘類栽培を指導できるだけの農業技術者が不足していることが問題である。そこで、日本の先進技術を導入し、本計画を促進した

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): い という農業局の意向で、協力隊員が要請された農学系 (果樹) 卒、実務経験 3年程度。実際に果樹園で柑橘類栽培をしている (した) 経験の有る者が望ましい。



# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10303 果 樹

記入昭和 54年 9月 15日

調査者氏名 柴田好文 (柴田 4279)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	Pomology	(女) 人	派遣予定 81年 2月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	果樹		

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Agrarian Reform.  
(日本語): 農業農地改革省
- ロ. 隊員勤務先名称: Directorate of Scientific Agricultural Research (ドゥマ中央農業試験場) 日本語名称 (ドゥマ中央農業試験場)  
所在地: Douma 村 主要都市からの距離 (ドゥマより20キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 3階建てビル2棟。付属農場約1.5ha。エンジニア約40名  
他ワーカー30~40名。本年完成した大規模な植物環境制御室。写真別添。

**ニ. 設備概要:**

- (2) 隊員の業務内容: (リンゴ) おおは (モモ, サクラホ, アロキソト, アズ) の台木, 接木, 土木に関する試験および剪定方法に関する試験研究にたずさわると予定。(リンゴ) と(核果類 (モモ, サクラホ, アロキソト, アズ) の部門はチームが合弁しており) 隊員自身で属する部門をどちらか選択する。
- ① 隊員の業務上の地位: 研究員 ② 技術の範囲: 上記の分野に於いて、専門家に近い技術水準があることが望ましい。本試験場は研究機関としてかなり確立しているので試験・研究技術やその知識をもちいる必要あり。③ 業務の形態: 本試験場では上記のテーマについて試験と栽培がスルカヤ、テラ、スルカヤ等の地方の支場に出張に行なう。上司と与えられた研究テーマを取り組む結果を報告するとともに自ら研究テーマを立て試験を行う。④ カウチレポート: リンゴの場合、英語の話せる男性エンジニア1名。他女性エンジニア2名が英語話せる。テラは少く英語解る。核果類の場合、テラが英語・仏語を話せる人と相談しながら働く。現任者は果樹セクションの主任とやっている。他男性エンジニア1名、女性エンジニア2名(由1名英語話せる)いる。⑤ 現地で利用される材料: 果樹セクションの実験室の一部を設備させてあり材料に於いては隊員報告書でその詳述。⑥ 他国のボランティアや専門家も配置されていない。
- ⑦ 使用言語: 全てアラビア語であることが望ましいが、十分でないところなるまで5年以上は必要ない英語と至ってアラビア語の向上に努める。アラビア語はうまくなる程、取組関係がよくなる。英語のうまい人は限られているので、英語だけでいろいろな面で難しい。

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:**

リンゴ、核果類については、果樹の中でも現在新植熱が比較的盛んで生産増加が期待されている。今後の発展のため、カルシウム土壌、ネマトダ、虫害に耐性のある台木の選抜、シリアに適した繁殖法、剪定法の開発普及、特にリンゴでは接木台木の導入等の問題解決が期待されている。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

**(大学 (農学部))** 上記の業務内容に於いて2年以上の実務経験があることが望ましい。又農業試験場でそのテーマの研究にたずさわった経験をもっているのが最適。なおそのテーマについての実務経験は試験場にて研修を修了している必要あり。

上記業務内容と適宜の試験を受けること

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 7月 20日

ザンビア

10303 果 樹

調査者氏名 余良輪陸美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Instructor of Fruits Growing	(男) / 人	訓練開始 56年 4月
	(日本語) 果樹栽培指導員	(女) 人	派遣予定 56年 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限56年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture and Water Development

(日本語): 農業・水資源開発省

ロ. 隊員勤務先名称: Zambia Center for Horticultural Training 日本語名称 (ザンビア園芸訓練センター)

所在地: P.O. Box 525 Kalulush-Kitwe 主要都市からの距離 (Kitweより 22キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 当事業所は1962~1966年にかけて Kafue 川一帯を基盤とする多目的な農業調査プラン「ファラ灌漑プロジェクト」の一環として設立された。その後FAOの資金・技術援助のもとに5か年契約で運営された後、1975年当国政府に移管され、野菜栽培、果樹栽培、灌漑の3部門を有する「ザンビア園芸訓練センター」として今日に至っている。敷地70ha (灌漑地38ha、未灌漑地32ha、うち実際に耕地化されているのは7haのみである。) 年間平均雨量1300mm程度、カピシより南西14km、Kitweの田より22kmに位置し、校長以下6名のスタッフ、5名の技術者、2名の農業アシスタント、52名のworkerがいる。他にFAOよりChief技術顧問(ベルギー人)灌漑専門家(ノルウェー人)各1名がいる。1981年度予算は50万7777元(1億5千万円)

ニ. 設備概要: 教室、宿泊施設、図書館、食堂、発電機室、倉庫、水揚ポンプ(8にた、2台)、農機具修理工場、養鶏場、貯水槽(5万m<sup>3</sup>)、スプリンラー、事務所、他に各種訓練用試験場を有している。

(添付写真参照)

(2) 隊員の業務内容: ①隊員の業務上の地位: Fruit Growing Instructor (果樹栽培指導員)

②技術の範囲: 当国はその気候条件から熱帯・亜熱帯果樹のみならず、温帯果樹のほとんどが栽培可能であり、肥料、堆肥、管理、病害虫等の基礎知識から育苗、選定、継木、摘果、品種改良等、実地栽培に及ぶまでの多面的な技術が要求される。特に熱帯果実のバナナ、パパイヤ、マンゴ、カシューナッツ、コーヒ、温帯果実のマンダリン、オレンジ、レモン等の栽培に精通していることが望ましい。

③業務の形態: 各地で実地に果樹栽培をする普及員のうち、農業委員により選ばれた者に対し、実情に合ったプラン、カリキュラムを組む、短期コースを設定し、基礎から応用までを実地を踏まえて指導に当る。

④カウンターパートの技術水準: カウンターパートの知識・技術水準は低く、彼らに栽培全般について育成指導に当るのも重要な業務活動となる。

⑤利用できる機材: 故障しているものもあり、最低限の機材は揃っている。

⑥外国人: 現在とこなし ⑦言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 老朽化してきた機材及び設備と、新しい技術の実際を手にとり、教える見せくわゆる者もないため、持てる能力の3割でなんとかやっていると毎日である。こうした最も主幹をなす訓練センターの実情が国の農業振興政策と相まって、いかに将来の可能性を拓く分野として協力隊に要請を求め、寄せられる期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 農業大学卒で果樹専攻 ② 実務経験5年以上 (果樹園等) ③ 単車免許

④ 英語堪能 ⑤ 教授経験者が望まれる。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 4 月 日

10303 果 樹

調査者氏名 <sup>在パラグアイ国</sup> 海外駐在員 望月 久

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
PARAGUAY	(現地公用語) FRUTICULTURA	(男) 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 果樹 (- 般)	(女) 人	派遣予定 56 年 2 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

**(1) 配 属 先**

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Presidencia de la República  
(日本語): Secretaría Técnica de Planificación
- ロ. 隊員勤務先名称: Centro de Desarrollo de la 日本語名称 (地域開発センター)  
所在地: Paraguarí | Comunidad (CEDECO) 主要都市からの距離 (首都より 80 キロ)
- ハ. 事業規模及び内容:

企画庁が主唱する地域開発計画の一環として パラグアリ果樹(一般)栽培プロジェクト地区が モデルケース指定され 地域住民の生活向上、インフラ整備等と当面の目標に、1980年から各種事業が推進されることになっている。

ニ. 設備概要:

**(2) 隊員の業務内容:**

- ① 業務上の地位 - 普及指導員
- ② 技術の範囲 - 「農民に対する果樹(一般)の技術指導」  
現在農民の栽培しているものは、グレップフルーツ、シカン、パイナップルなどであり、きちんと管理された形ではなく、自然のままの形態が殆んど。従って栽培技術、管理等の基本から指導することが求められる (小規模が)
- ③ 業務の形態 - 企画庁が上記計画推進に当たって、<sup>の一ツ</sup> 適性農業分野として考えられているものであり、状態は未だ初歩的段階であるが、現況を改善しつつ、小農家の収入向上に力をつけたい意向も有する為、巡回指導を通じて上述「技術の範囲」を実施することになる
- ④ 対象者及技術水準 - 一般農家を対象 技術レベルは初歩的段階と考える
- ⑤ 利用できる機械 - ほとんどなし <必要最小限の機械提供
- ⑥ オブ国人等の配置 - なし
- ⑦ 使用する言語 - スペイン語

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:**

本計画は、1975年以果政府部内で各種予備調査が行われ、1980年より実施に移されているものであり、いわゆる「パイロット・プロジェクト」的性格を有するものである。近年、国内開発計画との関連もあり、地方農村の開発、住民の生活向上策が模索されている現況下において、本計画の推進、成否は、他の計画にも影響を与えることになり、我が国協力隊の多大の期待が寄せられている。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

学歴は内務ない。 ○ 実務経験 2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

104 工芸作物

記入昭和54年4月20日

調査者氏名 大峯 保夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	現地公用語) ESPECIAS	(男) 人	訓練開始 年 月
	日本語) 香辛料栽培	(女) 人	派遣予定 80年2月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTERIO de AGRICULTURA y GANADERIA  
(日本語): 農 牧 省

ロ. 隊員勤務先名称: DIRECCION de INVESTIGACIONES AGRICOLAS (日本語名称: 農業調査局)  
所在地: AGRICOLAS 主要都市からの距離46km(より200キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 多目的ダム(農業及び電力)の建設に引水された農業用水に引寄せた ARENAL 湖の周辺に移転させ農業を走着せよとするプロジェクト

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: 隊員の任務は、同プロジェクトにおける実験農場で

DIMIANTA, ACHIOTE (アチット樹) CARDAMOMO 等の実験栽培を行うとともに農業への普及指導を行う

- ① 隊員の業務上の地位 : 香辛料栽培普及指導員
- ② 技術の範囲 : 熱帯における香辛料栽培技術全般、当地に適した香辛料の田舎研究
- ③ 業務の形態 : 一般農業を対象とした普及指導、実験場での田舎、苗栽培
- ④ 対象者及びカウンターパート : 一般農業対象、カウンターパートは未定

⑤ 現地で利用可能な機材 : ハンドトラクター等

⑥ 職場におけるオス3国人及び専門家等 : 現在いない

⑦ 使用言語 : スペイン語

3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当国における農村開発プロジェクトの大きな柱となる。農業に対し香辛料栽培の走着せよを期待している。

4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 大学農学部卒
- 香辛料栽培、2年以上の実務経験
- もし2年以上の経験がない場合は大学に於て熱帯香辛料について研究した人

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

105 き の こ  
105 き の こ

記入昭和 54年 11月 21日  
調査者氏名 渡辺直明  
山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 55年4or6月
	Mushroom Culture	(女) 人	派遣予定 55年8or10月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 55年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Ministry of Food, Agriculture & Irrigation

1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Agriculture.  
(日本語): 食糧農業灌漑省, 農業局

ロ. 隊員勤務先名称: Division of Plant Pathology 日本語名称 (植物病理課)  
所在地: Khumaltar, Lalitpur, Kathmandu 主要都市からの距離 (市内)より 6キロ

ハ. 事業規模及び内容: 将来の National Agriculture Research Center に予定されており、現在同敷地内には次の各課がある。Entomology, Soil Science & Chemistry, Botany, Agronomy, Vegetable, Potato, Veterinary, Agricultural Machinery.

ニ. 設備概要: 栽培に必要な菌の培養に関する器具は一通り揃っている。

(2) 隊員の業務内容: 前任隊員のおとを引継ぎ、同配属先においてキノコに関する栽培、研究、調査、普及等を行なう。

① 隊員の業務上の地位: Gazetted III Class Officer (3等級任官) 相当

② 技術の範囲 (a) 菌の純粋培養と種菌製造及び供給 (つくりたい、ふくらませ、からたせ、たぎらせ、なめこ、えのきたけ)  
③ 業務の形態 (きくらげ etc.)

- (b) カマス盆地におけるシタケの栽培実行可能性調査
- (c) ネパールの気象条件下における「ふくらませ」の栽培可能性調査
- (d) なめこ、えのきたけ、たぎらせの試験的栽培
- (e) からたせのつら栽培と短木栽培の営利栽培方法の研究
- (f) ネパールにおけるキノコの在来種の調査、採集、分類及び保存 (本年度は実施しているか)
- (g) ネパールにおけるキノコの目録作成 (計画はある)
- (h) つくりたいの経済的(営利)栽培方法の研究(採算面も含む) ⇒ ほぼ終了

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: Miss Bannu Pandey (M.Sc Botany, Specialization in Plant, Vikram University, Ujjain, M.P. India Pathology 経験13年 1966~1979)  
Mr. Nara Hari Khadka (J.T. 農業一般につき経験12年)

⑤ 現地で利用できる機材: 写真集参照 (053, 2, 28, 32, 264号にて送付)

⑥ 取場における外国人、渡辺隊員(053, 8~055, 8)が協力活動を行っている。必要請は同隊員の交替である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ① 使用語言語: ネパール語、専門用語は英語、キノコ名は学名で知って  
ネパール国におけるキノコ栽培の基礎研究は1975年度から始めているが、近年農民も興味をおくこと。を示してきていることから、現金収入源として商品化するための技術のノウハウについて農民に対するキノコ栽培の普及、奨励を主目的としたデータ収集を始めている。従ってこの種類のキノコ栽培方法も含め商品化に有利であるか更に調査、研究する必要がある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
業務の形態は研究室型であり、技術の範囲は広範にわたるが、隊員の業務内容はシタケ栽培を主として他のキノコ栽培及び菌の培養、種菌製造が出来る者。従ってキノコ栽培、経験年数は2-3年、学歴は大卒以上が望ましい。

〈渡辺直明隊員交替〉

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54 年 9 月 日

105 き の こ

調査者氏名 阿部 裕子 松原 邦義

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
T.A. 737 共和国	(現地公用語) マッシュルーム	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) (french) mushroom	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Agrarian Reform  
(日本語): 農業農村改革省
- ロ. 隊員勤務先名称: Directorate of Scientific Agricultural Experimentation (日本語名称: 中央農業試験場)  
所在地: Douma (ドゥマ) 主要都市からの距離 (約20km 20キロ)
- ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

- (2) 隊員の業務内容: — I-AO からの資金援助による、217に示したマッシュルーム栽培用苑に "Mushroom production specialist" とし協力する。
- 732年 Somycel Co. から i) Mushroom 菌の育成とマッシュルームの生産に関する資料 (技術情報) が送られ、ii) マッシュルームの栽培に関する研究、iii) 全体のマッシュルームの栽培に関する短期間派遣される。
  - その栽培に関する試験場: 菌を培養する土壌の採取と分析を行う。
  - ii) 試験場の food technology section に配属される。4-7の Mr. Omer は マッシュルームの栽培に関する P44 の一冊の資料 (2セル) を提供。栽培に関する資料も提供可能。
  - この資料を参考に 217人技術者 (実際に217に示した) 菌を培養、生産販売の2255円を目標 (今年度、高利の2000円は上記の5000円のマッシュルームの生産、がそれと関係する Apple 3000円の手配) した。
  - 必要最小限の equipment はある。
  - 言葉: 英語、アラビア語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒 実務経験3年以上 フランス語マッシュルームに関する知識 (マッシュルームの栽培) に関する知識、実務経験と有する。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 10月 18日

## 115 土 壌 肥 料

調査者氏名 堀内 清美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
マレーシア	(現地公用語)	(男) ( 人 )	訓練開始 56年 8月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 56年 7月
	土 壌 分 析	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

### (1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): KORPRASI PEMBANGUAN DESA SABAH (K.P.D)

(日本語): サバ州地方開発庁

2. 隊員勤務先名称: Corporasi Pembangunan Desa 日本語名称 ( 地方開発庁 )

所在地: Block D, Lot 14, Sedco Complex 主要都市からの距離 (KKより) 1キロ

3. 事業規模及び内容: Kg. Air, Kota Kinabalu Sabah Malaysia

日本及び地方開発庁的視点から、省に依頼せず、サバ州首席大臣直轄の下に組織され、迅速に地方開発(主に農業)を行う事業組織として60LCCの

4. 設備概要: 施設プロジェクトがある。設立以来3年たつたが、現在各種設備準備中。

### (2) 隊員の業務内容:

① 地位 ... 土壌分析 supervisor

② 業務 ... 所定地域内の土壌の調査、試験等を行う。その土壌の調査作物の栽培に適した肥料の調査を行う。

その調査の土壌分析の結果、農作物の栽培に最適な肥料の調査を行う。

③ 外国人 ... 本国人が2人 (経済関係)

10LCC、本川 (野菜)、運搬 (農業機械) 隊員がいる。

④ 使用言語 ... 英語 (英会話実力の日本人は、マレー語可)

### (3) 受入希望の背景と受入国の期待:

K.P.Dは設立されて3年たつたが、歴史も浅く必要な人材及び人材が不足している。土壌調査の結果、作物を植えるための肥料の調査、採取した土壌の調査結果に基づいて土壌分析の重要性、重要性を70-20-10で示した。

### (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

土壌分析の他に 農業 (特に園芸作物) 関係の知識を有する希望あり。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 4月 22日

115 土 壤 肥 料

調査者氏名 石川 満 男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
ケニア	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	土 壤 ・ 肥 料	(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Higher Education  
(日本語): 高等教育部

2. 隊員勤務先名称: The Jomo Kenyatta college of Agriculture & Technology  
所在地: 主要都市からの距離 (首都より 35キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 我国の無償資金協力の(約 48億円)及び技術協力による新設される四年制大学 農学部3学科(園芸・農業工学・食品加工)、工学部3学科(機械工学・土木建築・電気)、学生数720名、教・職員120名

ニ. 設備概要: 建物、内部設備、教材、機材共規模を同じくする我國の大学と同じ水準のものを整備している。

(2) 隊員の業務内容:

① 大学教員 (土 壤 ・ 肥 料 学 担 当)

② 土 壤 の 化 学 的 性 質、肥 沃 性 及 び 分 類  
肥料の機能、効果及無機、有機肥料の性質とシステム等について講義する。  
化学実験と肥料分析等を行う

③ ケニア人、日本人専門家と全く同様の大学教員として専門科目を担当

④ 学歴は K.C.E 以上 (11年以上)、年令 18 年以上  
(Kenya certificate of Education 小学校7年中学校4年卒業)

⑤ 本邦より贈送した機材 (約 11 億円) を使用出来る

⑥ ケニア人教職員 80 名、日本人専門家 22 名

⑦ 英語 (講義を全て英語で行うに特に英語に堪能である事が望ましい)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニア政府は次々次経済開発5ヶ年計画を国策として必要の中堅技術者の深刻な不足を痛感し、これに対処するため職業技能訓練に重点を置いた教育制度の改革を行う事を、本学は先頭卓にあつて今後ケニアの技術者養成及び社会の供給を担う事が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

土 壤 ・ 肥 料 に 関 係 する 大 学 卒 業 以 上



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年9月12日

120 農業土木

調査者氏名 金城 光男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Agricultural Engineer	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業土木	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture, Drainage & Irrigation Dept. (DID)  
(日本語): 農業省 灌漑排水局

2. 隊員勤務先名称: 州 DID 事務所 日本語名称 ( )  
所在地: 未定 (隊員履先参照の上適地選定) 主要都市からの距離 ( ) より キロ

3. 事業規模及び内容: 州 DID は 在 KL 本局の監督下にあり、州内の農業構造改善に關する諸プロジェクトの調査・計画立案、調査・施工監督、および既存水利施設の管理・維持に關する業務を司る。

4. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

1. 業務上の地位:

DID 州事務所にて配属され 所長に補佐する。

2. 業務内容:

イ) 小規模灌漑プロジェクトの調査・計画立案

ロ) 建設施工監督

ハ) 水利施設の維持・管理

ニ) 入札用資料の作成

等が隊員に課せられる業務であり、隊員の経験・能力により、担当業務の具体的な内容が決まる。

3. 現地で使用できる機材:

測量器具等一応完備。

4. 使用可能な言語:

マレー語履習が望ましい。但し技術者同は英語が多用される。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

第5次5年計画関連事業及び第4次計画のためのプロジェクト策定等に必要となる要員として DID 技術者の不足を補う。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒 農業土木専攻 実務経験 2年以上

(Engineer という資格が必要なため大卒が望ましい)

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 7月 24日

120 農 業 土 木

調査者氏名 山本 泉 記

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
ネパール	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 55年 10月 12日
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 56年 2月 9日
	農業土木	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Food, Agriculture & Irrigation, Dept. of Agriculture  
 (日本語): 食糧農業灌漑省、農業局

ロ. 隊員勤務先名称: Agriculture Development Office, Ramechhap  
 所在地: Ramechhap District, Tanakpur Zone  
 日本語名称 (ラメックハップ郡農業普及事務所) 主要都市からの距離 (カトマंडゥより キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ① 山間地農民に対する生活向上を目的とした小規模かんがい技術の導入
- ② 山間地農民に対する治山治水事業の技術指導及び普及活動
- ③ かんがい技術を導入した展示圃場の設置及び現場指導
- ④ 地域農民レベルにおける共同事業精神の育成
- ⑤ 山間地かんがい農業開発計画の遂行
- ⑥ 地域農民との融和

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現地 ADO (農業普及事務所長) は JOCV 隊員の活動を熟知しており、関係者 (省局レベル) は当地の地域開発に JOCV 隊員を大きく期待し、指導者として派遣を要請している。過去に同地域で活動した隊員の実績が高く評価されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業土木を学び、独創的有考えかできる人。  
 (学歴は大学である必要はない)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 1月 10日

120 農業土木

調査者氏名 駒澤 彰夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語) Irrigation Technology	(男) 4人	訓練開始 55年 10月
	(日本語) 灌漑	(女) 人	派遣予定 56年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Manpower Development Division, Ministry of Agriculture  
(日本語): 農業省 人材開発局

ロ. 隊員勤務先名称: Ministry of Agriculture Training Institute 日本語名称 (農業専門学校)  
所在地: ILONGA 主要都市からの距離 (kilosより 9キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農業技術者、農業普及員の養成機関  
2年制の Certificate 課程 (現在生徒数 74人) 及び Diploma 課程 (同 29人) 全寮制。教師 28人、事務・農場労働者等 90人

ニ. 設備概要: 教室、学生寮、スタッフ住宅、農場 (6ha)。Irongo 農業研究所と隣接しているなどの設備を利用して授業することもある。教材は不足気味。

(2) 隊員の業務内容: Certificate 課程の生徒に対し、各種小規模灌漑に関する計画、設計、施工法を講義・実技で教える。他に Land Use 関係教科および灌漑農業、測量、土壌学、土壌と水の保全、作物保護などのうちいくつかを兼任する。欲しいと学校側は望んでいる。

① 教官

② 灌漑に関する理論及び技術は必須。他に作物、水利、土壌学などの基礎知識を有すること。

③ 赴任後 隊員の能力に応じ、現地人教官と分担して担当教科が決まる。

④ 生徒は Secondary を出た 20年前後。農業について系統だった知識はない。農業全般の履習が目的であり、専門的に深くよりは基礎的で幅広い知識、実地教育に重点を置いている。

⑤ 教材、教材は一応揃っているが、質量ともに不足気味。

⑥ オランダ ボランティア 2名 ..... 180年 9月 帰国予定

JOLV 1名 ..... 農業機械 181年 10月 まで

JOLV OG 1名 ..... 栄養学 180年 6月 着任予定

⑦ 英語 (スワヒリ語は現地に入ってから勉強することにする)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1972年 Irongo Research Institute と併設され現在に至る。1976年 5月の新教育改革により灌漑関係科目を含めた現在の全国共通カリキュラムとなった。76年に協力隊に対し要請があったが派遣出来ずにいたところ、改めて Land Use 関係教師の不足から是非とも派遣願いたい旨再要請を受けた。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業一般のカリキュラムの中での灌漑科目教育であり、専門的に工事を担当するのではない。農業を背景とする農業土木専攻者で (2) ② に合致する者。

農業短大卒以上で 経験 2年 (英語及び測量技術)

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年9月10日

120 農 業 土 木

調査者氏名 新田 慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
マラウイ	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	LAND HUSBANDRY OFFICER	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語) 土地利用	(どちらでも可) 人	受入期限 2年10月迄に現地到着のこと

**(1) 配 属 先**

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Natural Resources  
(日本語): 農業天然資源省
- ロ. 隊員勤務先名称: Department of Agricultural Development (日本語名称: 農業開発局)  
所在地: Limpopo, Hazyton, Lydenburg 主要都市からの距離 (    ) キロ
- ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

**(2) 隊員の業務内容:**

土地利用技師 (P.O 上級公務員)  
土地利用計画の策定  
使用言語 英語

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:**

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

① 大卒 農学部卒。農業経済 農業工学 簡単で一筆測量ができること。  
に類似

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 7月 27日

ザンビア

120 農業土木

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Irrigation Supervisor (日本語) 灌漑監督官	(男) 1人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 56年 4月 派遣予定 56年 8月 受入期限 56年8月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 Ministry of Agriculture and Water Development			
1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Agriculture (日本語): 農業及び水資源開発省 農業局			
2. 隊員勤務先名称: National Irrigation Research Station 日本語名称 (国立灌漑調査研究所) 所在地: P.O. Box 68, Mazabuka 主要都市からの距離 (Lusakaより106キロ)			
3. 事業規模及び内容: 当研究所は以前 Rhodesia Selection Trust Company が経営した個人農場であったが 1964年ザンビア独立と共に吸収され現在の研究所になった。1974年、西独及びFAO(国連)の資金技術援助により、1978年 に協定に基づき総合農業研究所として今日に至っている。カワレ河川に沿った敷地 200ヘクタールのうち 110ヘクタールは既に開 闢されている。灌漑設備には英国製揚水ポンプ3基、各種送水ポンプ、送水管610x3インチ、貯水池、スプリング、 設備概要: 内、40ヘクタールが研究目的、70ヘクタールが試験栽培場として利用されている。当地の年間雨量は500 900mm程度。降水量以下スプリング5基、技術系スタッフ3名、予備員5名、熟練作業員25名、通常の作業員50名、事務職員5名等 (2) 隊員の業務内容: 1. 設備概要: 本研究所は、農耕一般、灌漑農業、園芸作物、牧場、機械部門 (灌漑設備部門と機械設備部門に分れる) 土壌試験場、気象観測所、食品加工所(冷蔵、貯蔵乾燥、冷凍) 等を持っている。灌漑設備部門には英国製揚水ポンプ3基、各種送水ポンプ、送水管610x3インチ、貯水池、スプリング、 (2) 隊員の業務内容: ① 業務上の地位: Irrigation Supervisor。隊員は上記機械部門のうち灌漑設備部門に 属し「灌漑監督官(設備)」として同研究所のスタッフとなる。 ②③ 技術の範囲・形態: カワレ河川に沿って汲み上げられる疎水は揚水ポンプ場を経て 5000m <sup>3</sup> 、1万m <sup>3</sup> の貯水 場に送管され、これを分岐した各所の揚水ポンプ場及びスプリングに送られる 設備の保守・管理が主たる業務となる。更に、土壌水分、雨量、気象状況などの 総合知識も必要となる。又、耕地の耕作計画に伴う灌漑施設の技術的助言も ④ 対象者及びカマ-パートの技術水準: 各種設備(揚水ポンプ、配管パイプ、自家発電機、スプリング等)は完備しているものの の人員管理の面は高度な技術者がいない。適切な保守ができていない。 ⑤ 現地で利用できる機材: 同時にカマ-パート及び技術者に高度な知識・技術を指導する必要 がある。又、カマ-パートの技術水準は低く、中等程度。 ⑥ 職場における外国人: 所長代行1人(オランダ人)、オランダ人専門家2名(炭栽培、農業機械)、 インド人コントラクター1名(園芸作物)。 ⑦ 使用の言語: 英語 (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国の農産物種子生産は農業中央研究所(Mount Makulu, カワレ 川沿い)で開発された種子等を本研究所で試験栽培し、更に政府市場公社(National Agricultural Marketing Board)を通じて各農家の市場に供給している。諸設備の整備は本研究所のものであるが、将来の当国の農業政策 振興の重要な地位を占めている。協力隊の農業分野への派遣は当国にとって大きな期待を寄せていると共に 協力隊の当国派遣以来10年を経過し、更に同分野の派遣が実現の見通しとなり、その真価を問われよう。限られた予算枠 (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 充分承認の上、持てる能力を十分に発揮し、貢献できること ① 大学(農業土木専攻) ② 経験5年以上 (当国は強く望んでいる) ③ 灌漑設備の設計、施工、保守・管理に直接従事した豊富な経験を持つ者 ④ 単身赴任 ⑤ 英語堪能。			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 3 月 20 日

120 農業土木

調査者氏名 林 邦昭

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
リベリア	(現地公用語) Irrigation	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業土木	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Labour, Youth and Sports.  
(日本語): 労働、青年、スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: National Youth Training Center 日本語名称 (国立青年訓練所)  
所在地: Benoni 主要都市からの距離 (都より33km)

ハ. 事業規模及び内容:  
農業育成のための職業訓練センター

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の地位; 指導員
- ② 技術の範囲; 水灌漑、指導カリキュラム 兼 全般的農業知識
- ③ 業務の形態; 訓練所内で校長、他のスタッフと共に指導員として実技指導に従事する。
- ④ 対象者及びターゲット; 研修生 約100名(1期生) に対象とする
- ⑤ 言語; 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

多くの期待が寄せられている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

特になし。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 4月 10日

121 農業機械

調査者氏名 新保 昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Rice Processing	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業機械(精米技術)	(女) 人	派遣予定 56年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先			
1. 配属先名称 (現地公用語): Agricultural Credit Administration (ACA)			
(日本語): 農業信用機構			
ロ. 隊員勤務先名称: Compact Farm Cluster 日本語名称 ( )			
所在地: Balinga Bulacan prov. 主要都市からの距離 (マニラより 70キロ)			
ハ. 事業規模及び内容: Compact Farm 2ヶ所産出した米を玄米で保存し、 有利に市場へ出荷し出すことである。市場は国内 向け勿論のこと、海外への輸出を意図し構想がある			
ニ. 設備概要: 別紙(英文)は、その詳細である。			
(2) 隊員の業務内容:			
隊員の業務上の地位: ACA所属の精米加工技術者			
技術の範囲: 精米加工一般に及ぶ知識及び操作技術			
業務の形態: 送付先 Compact Farm の X-バー及び Confarm に 対する精米技術の指導			
対象者及びそのカテゴリー: 技術水準、学歴及び年齢 Compact Farm には関係する農民及び Confarmer であり 学歴を区別している。年齢は 20歳~50歳、その精米技術に 関心し出す者を選び技術指導を行ってみたい			
現地に利用出来る機械: Rice Mill Complex にしか設置して下さらない 必要機械は整へる予定 (Rice Mill は日本製の 予定)			
職場に在りける外国人及び日米専門家の配置状況 インテグリの Volunteer が全体の計画立案者として参画 の予定			
使用した言語: 英語			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: フィリピンには在りる米の生産と順調に伸び、輸出の 可能と見られている。その一つの柱と見られているのが Compact Farm による ACA の 生産指導である。今後の課題は、有利に市場へ出荷することである。そのための 試みとして Rice Mill complex を設置し、玄米に加工貯蔵し出すこととしている。日本に在 ける米の貯蔵方法を高く評価しており、隊員に対する期待は大きい。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 農業工学 又は工学系大学卒業生、当該分野に在りる経験3年以上			